

教001	項目名	明德小学校校舎耐震補強事業費
------	-----	----------------

主要な施策	明德小学校校舎耐震補強事業費	ページ	44
-------	----------------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 教育総務課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要
-------

会計名	一般会計
款	教育費
項	小学校費
目	学校建設費

【問合せ先】学校施設係 0857-20-3353

【9次総の施策体系】1102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P257（教001）

【事業の概要】  
 明德小学校の校舎のうち、昭和52、53年に建設の校舎2棟について、耐震補強、外壁改修、屋上防水、床改修工事を行った。

【事業の成果】  
 地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難場所としての機能を果たすことができる。  
 平成24年度 10,002千円 校舎耐震補強計画・実施設計  
 平成25年度 57,057千円 校舎耐震補強等工事

【今後の課題・方向性】  
 平成25年度で改修完了。

（単位：千円）	
当初予算額	78,549

補正予算額	△ 17,438
-------	----------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	61,111
-------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	57,057
--------	--------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	34,630
	地方債	21,300
	その他	0
	一般財源	1,127
計	57,057	

(参考)	
前年度決算額	10,001

評価結果	平成25年度で改修完了。
------	--------------

教002	項目名	倉田小学校校舎耐震補強事業費
------	-----	----------------

主要な施策	倉田小学校校舎耐震補強事業費	ページ	44
-------	----------------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 教育総務課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要
-------

会計名	一般会計
款	教育費
項	小学校費
目	学校建設費

【問合せ先】学校施設係 0857-20-3353

【9次総の施策体系】1102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P257（教002）

【事業の概要】  
 倉田小学校の校舎のうち、昭和44、54年に建設の校舎2棟について、耐震補強工事を平成26年度に予定しており、工事に向けた設計業務を行った。

【事業の成果】  
 地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難所としての機能を果たすことができる。  
 平成25年度 7,679千円 校舎耐震補強計画・実施設計

【今後の課題・方向性】  
 平成26年度工事実施を予定。

(単位:千円)

当初予算額	9,790
補正予算額	△ 2,110

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	7,680
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	7,679
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	7,679
計	7,679

(参考)

前年度決算額	0
--------	---

評価結果	平成26年度工事実施を予定。
------	----------------

教003	項目名	大正小学校校舎耐震補強事業費
------	-----	----------------

主要な施策	大正小学校校舎耐震補強事業費	ページ	44
-------	----------------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 教育総務課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	
一般会計	
款	教育費
項	小学校費
目	学校建設費

(単位:千円)

当初予算額	6,476
-------	-------

補正予算額	316
-------	-----

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	6,792
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	6,792
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	5,700
その他	0
一般財源	1,092
計	6,792

【問合せ先】学校施設係 0857-20-3353

【9次総の施策体系】1102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P258 (教003)

【事業の概要】  
 大正小学校の校舎のうち、昭和54年に建設の校舎1棟について、耐震補強工事を平成26年度に予定しており、工事に向けた設計業務を行った。

【事業の成果】  
 地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難所としての機能を果たすことができる。  
 平成25年度 6,792千円 校舎耐震補強計画・実施設計

【今後の課題・方向性】  
 平成26年度工事実施を予定。

(参考)

前年度決算額	0
--------	---

評価結果	平成26年度工事実施を予定。
------	----------------

教004	項目名	米里小学校屋内運動場耐震補強事業費
------	-----	-------------------

主要な施策	米里小学校屋内運動場耐震補強事業費	ページ	44
-------	-------------------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 教育総務課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要	
-------	--

会計名	一般会計
款	教育費
項	小学校費
目	学校建設費

【問合せ先】学校施設係 0857-20-3353

【9次総の施策体系】1102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P258（総004）

【事業の概要】  
 米里小学校の体育館について、耐震補強工事を平成26年度に予定しており、工事に向けた設計業務を行った。

【事業の成果】  
 地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難場所としての機能を果たすことができる。  
 平成25年度 5,160千円 体育館耐震補強計画・実施設計

【今後の課題・方向性】  
 平成26年度工事実施を予定。

(単位:千円)

当初予算額	5,574
補正予算額	△413

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	5,161
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	5,160
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	4,600
その他	0
一般財源	560
計	5,160

(参考)

前年度決算額	0
--------	---

評価結果	平成26年度工事実施を予定。
------	----------------

教005	項目名	美保小学校屋内運動場耐震補強事業費
------	-----	-------------------

主要な施策	美保小学校屋内運動場耐震補強事業費	ページ	44
-------	-------------------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 教育総務課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要
-------

会計名	一般会計
款	教育費
項	小学校費
目	学校建設費

【問合せ先】学校施設係 0857-20-3353

【9次総の施策体系】1102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P259（総005）

【事業の概要】  
 美保小学校の体育館について、耐震補強工事を平成26年度に予定しており、工事に向けた設計業務を行った。

【事業の成果】  
 地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難場所としての機能を果たすことができる。  
 平成25年度 4,570千円 体育館耐震補強計画・実施設計

【今後の課題・方向性】  
 平成26年度工事実施を予定。

(単位:千円)

当初予算額	7,060
補正予算額	△ 2,490

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	4,570
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	4,570
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	3,800
その他	0
一般財源	770
計	4,570

(参考)

前年度決算額	0
--------	---

評価結果	平成26年度工事実施を予定。
------	----------------

教006	項目名	南中学校校舎改築事業費
------	-----	-------------

主要な施策	南中学校校舎改築事業費	ページ	45
-------	-------------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 教育総務課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	教育費
項	中学校費
目	学校建設費

【問合せ先】学校施設係 0857-20-3353

【9次総の施策体系】1102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P259（教006）

(単位:千円)

当初予算額	140,995
-------	---------

【事業の概要】  
 南中学校校舎のうち、昭和43、44（2棟）、45年に建設の校舎が、補強工事だけでは耐震効果が得られないと判定されたため、平成23～25年度にかけて改築工事を行った。

補正予算額	△ 515
-------	-------

【事業の成果】  
 地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難所としての機能を果たすことができる。

予算流・充用額	0
---------	---

平成22年度	74,248千円	校舎改築実施設計（校舎耐震補強設計含む）
平成23年度	320,335千円	校舎改築工事
平成24年度	291,617千円	校舎改築工事
平成25年度	140,477千円	校舎改築工事

最終予算額	140,480
-------	---------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	140,477
--------	---------

【今後の課題・方向性】  
 平成25年度で工事完了。

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	33,275
	地方債	101,300
	その他	0
	一般財源	5,902
計	140,477	

(参考)

前年度決算額	291,617
--------	---------

評価結果	平成25年度で工事完了。
------	--------------

教007	項目名	河原中学校屋外環境整備事業費
------	-----	----------------

主要な施策	河原中学校屋外運動場整備事業費	ページ	45
-------	-----------------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 教育総務課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	教育費
項	中学校費
目	学校建設費

【問合せ先】学校施設係 0857-20-3353

【9次総の施策体系】1102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P260（教007）

【事業の概要】  
 河原中学校は、平成22～23年度にかけて校舎改築工事を、平成23～24年度にかけて屋内運動場とグラウンド整備を実施している。  
 屋内運動場が平成24年度末を待たず、1月末での早期完成引渡しとなったことから、グラウンド整備工事を平成24～25年度に行った。

【事業の成果】  
 グラウンド整備を行うことで屋外教育環境の改善が図られた。  
 平成23年度 27,307千円 測量設計、グラウンド整備工事  
 平成24年度 55,887千円 グラウンド整備工事、外構工事  
 平成25年度 23,620千円 外構工事

【今後の課題・方向性】  
 平成25年度で工事完了。

(単位:千円)

当初予算額	26,208
補正予算額	△ 2,588
予算流・充用額	0

最終予算額	23,620
本年度決算額	23,620

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	22,400
	その他	0
	一般財源	1,220
計	23,620	

(参考)

前年度決算額	0
--------	---

評価結果	平成25年度で工事完了。
------	--------------

教008	項目名	東中学校校舎耐震補強事業費
------	-----	---------------

主要な施策	東中学校校舎耐震補強事業費	ページ	45
-------	---------------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 教育総務課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要
-------

会計名	一般会計
款	教育費
項	中学校費
目	学校建設費

(単位:千円)	
当初予算額	0

補正予算額	3,536
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	3,536
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	3,003
--------	-------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	2,800
	その他	0
	一般財源	203
計	3,003	

【問合せ先】学校施設係 0857-20-3353

【9次総の施策体系】1102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 12月補正予算・P48 (教003)

【事業の概要】  
 近年の地球温暖化による猛暑や生活様式の変化に対応し、耐震補強工事に併せて空調設備の整備を行うため、設計業務を行った。

【事業の成果】  
 空調設備を整備することにより、生徒・教職員の健康管理・教育環境の充実が図られる。  
 平成25年度 3,003千円 空調設備設置設計  
 (校舎耐震補強工事は繰越予算で実施)

【今後の課題・方向性】  
 平成26年度で工事を実施。

(参考)	
前年度決算額	14,480

評価結果	平成26年度で工事を実施。
------	---------------



教009	項目名	北中学校校舎改築事業費
------	-----	-------------

主要な施策	北中学校校舎改築事業費	ページ	45
-------	-------------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 教育総務課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	教育費
項	中学校費
目	学校建設費

(単位:千円)	当初予算額	543,394
---------	-------	---------

補正予算額	△ 94,820
-------	----------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	448,574
-------	---------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	439,042
--------	---------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	140,363
	地方債	283,000
	その他	0
	一般財源	15,679
計	439,042	

【問合せ先】学校施設係 0857-20-3353

【9次総の施策体系】1102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P260(教008)

【事業の概要】  
 北中学校校舎のうち、昭和36、38、40、52年に建設の校舎6棟のうち5棟が、補強工事だけでは耐震効果が得られないと判定されたため、平成25～27年度で校舎改築を行うこととし、平成25年度は校舎解体工事、改築工事を行った。

【事業の成果】  
 地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難所としての機能を果たすことができる。  
 平成24年度 42,740千円 校舎改築実施設計  
 平成25年度 439,042千円 校舎解体工事、校舎改築工事

【今後の課題・方向性】  
 平成25～27年度工事実施を予定。

(参考)	前年度決算額	42,740
------	--------	--------

評価結果	平成25～27年度工事実施を予定。
------	-------------------

教010	項目名	用瀬中学校校舎改築事業費
------	-----	--------------

主要な施策	用瀬中学校校舎改築事業費	ページ	45
-------	--------------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 教育総務課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	教育費
項	中学校費
目	学校建設費

(単位:千円)	
当初予算額	583,141

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	583,141
-------	---------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	565,537
--------	---------

区分	決算額
国・県支出金	306,455
地方債	232,500
その他	0
一般財源	26,582
計	565,537

【問合せ先】学校施設係 0857-20-3353

【9次総の施策体系】1102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P261 (教009)

【事業の概要】  
 用瀬中学校校舎のうち、昭和32, 33年に建設の校舎2棟について、補強工事だけでは耐震効果が得られないと判定されたため、平成24～25年度で校舎改築工事を行うこととした。また、佐治、用瀬中学校が統合されたため、統合を見据えた校舎改築が必要となった。  
 平成25年度は校舎改築工事を行った。

【事業の成果】  
 地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難所としての機能を果たすことができる。  
 平成23年度 16,174千円 校舎改築基本設計 (校舎耐震補強計画含む)  
 平成24年度 418,255千円 校舎改築実施設計、校舎解体工事  
 平成25年度 565,537千円 校舎改築工事  
 (翌年度繰越額 16,534千円 外構工事)

【今後の課題・方向性】  
 平成25年度で改築校舎は完成したが、外構工事が施工方法の検討に日数を要したため平成26年度に繰越して行う。

(参考)

前年度決算額	418,255
--------	---------

評価結果	平成25年度で改築校舎は完成したが、外構工事が施工方法の検討に日数を要したため平成26年度に繰越して行う。
------	---

教011	項目名	桜ヶ丘中学校校舎耐震補強事業費
------	-----	-----------------

主要な施策	桜ヶ丘中学校校舎耐震補強事業費	ページ	45
-------	-----------------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 教育総務課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	教育費
項	中学校費
目	学校建設費

【問合せ先】学校施設係 0857-20-3353

【9次総の施策体系】1102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P261（教010）、12月補正予算・P48（教004）

(単位:千円)

当初予算額	12,995
-------	--------

【事業の概要】  
 桜ヶ丘中学校の校舎のうち、昭和54、55年に建設の校舎2棟について、耐震補強、外壁改修工事を平成26～27年度に予定しており、工事に向けた設計業務を行った。  
 また、近年の地球温暖化による猛暑や生活様式の変化に対応し、耐震補強工事に併せて空調設備の整備を行うため、設計業務を行った。

補正予算額	3,246
-------	-------

【事業の成果】  
 地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難所としての機能を果たすことができる。  
 空調設備を整備することにより、生徒・教職員の健康管理・教育環境の充実が図られる。  
 平成25年度 16,216千円 校舎耐震補強計画・実施設計、空調設備設置設計

予算流・充用額	0
---------	---

【今後の課題・方向性】  
 学校運営に配慮し、2か年工事としたため、平成26～27年度工事実施を予定。

最終予算額	16,241
-------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	16,216
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	14,800
その他	0
一般財源	1,416
計	16,216

(参考)

前年度決算額	0
--------	---

評価結果	学校運営に配慮し、2か年工事としたため、平成25年度設計、平成26～27年度工事実施を予定。
------	--

教012	項目名	青谷中学校校舎改築事業費
------	-----	--------------

主要な施策	青谷中学校校舎改築事業費	ページ	45
-------	--------------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 教育総務課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要
-------

会計名	一般会計
款	教育費
項	中学校費
目	学校建設費

(単位:千円)	
当初予算額	0

補正予算額	14,306
-------	--------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	14,306
-------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	9,607
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	9,600
その他	0
一般財源	7
計	9,607

【問合わせ先】学校施設係 0857-20-3353

【9次総の施策体系】1102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 12月補正予算・P49 (教005)

【事業の概要】  
 青谷中学校の校舎のうち、昭和34年、35年に建設の校舎2棟について、不同沈下及びコンクリートの中性化が進行していること、築後50年以上経過し老朽化も進行していることから、平成27～28年度で改築を行うこととし、平成25年度は改築工事に向けた設計業務を行った。

【事業の成果】  
 地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難所としての機能を果たすことができる。  
 平成25年度 9,607千円 校舎改築実施設計

【今後の課題・方向性】  
 平成25～26年度設計、平成26～28年度工事実施を予定。

(参考)	
前年度決算額	0

評価結果	平成25～26年度設計、平成26～28年度工事実施を予定。
------	-------------------------------

教013	項目名	気高中学校校舎改築事業費
------	-----	--------------

主要な施策	気高中学校校舎改築事業費	ページ	45
-------	--------------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 教育総務課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要	
-------	--

会計名	一般会計
款	教育費
項	中学校費
目	学校建設費

(単位:千円)	
当初予算額	0

補正予算額	20,559
-------	--------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	20,559
-------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	13,696
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	13,200
その他	0
一般財源	496
計	13,696

【問合わせ先】学校施設係 0857-20-3353

【9次総の施策体系】1102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 12月補正予算・P49(教006)

【事業の概要】  
 気高中学校の校舎のうち、昭和42年に建設の校舎2棟について、教室棟は、全面に補強が及ぶなど工事が大規模となること、管理棟も、補強壁設置による部屋割り変更が必要で老朽化も進行していることから、平成27～28年度で改築を行うこととし、平成25年度は改築工事に向けた設計業務を行った。

【事業の成果】  
 地震発生時における生徒・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難所としての機能を果たすことができる。  
 平成25年度 13,696千円 校舎改築基本設計・実施設計

【今後の課題・方向性】  
 平成25～26年度設計、平成27～28年度工事実施を予定。

(参考)	
前年度決算額	0

評価結果	平成25～26年度設計、平成27～28年度工事実施を予定。
------	-------------------------------

教014	項目名	放課後児童対策事業費
------	-----	------------

主要な施策	放課後児童対策事業費	ページ	31	所属名
-------	------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	民生費
項	児童福祉費
目	児童福祉総務費

(単位:千円)	
当初予算額	224,142

補正予算額	14,961
-------	--------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	239,103
-------	---------

本年度決算額	237,341
--------	---------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	129,559
地方債	2,300
その他	0
一般財源	105,482
計	237,341

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】地域・家庭教育係 0857-20-3376

【9次総の施策体系】1102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P197(教011)、8月補正予算・P27(教002)、  
 12月補正予算・P45(教007)

【事業の概要】  
 保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校低学年児童の育成・指導に資するため、放課後児童クラブの運営を行う。

【事業の成果】  
 平成23年度 43クラブ 1,505人  
 平成24年度 45クラブ 1,637人  
 平成25年度 45クラブ 1,749人、砂山分割(12月～砂山第二を暫定開設)

【今後の課題・方向性】  
 共働きや一人親家庭の増加により、放課後児童クラブのニーズは年々高まっており、この傾向は今後も続くものと考えている。このため、大規模化が進行している児童クラブの分割等に引き続き取り組む。  
 また、平成27年度から施行予定の子ども・子育て支援新制度により、平成26年度中に「放課後児童クラブの設備及び運営に関する基準」を条例で定めることや高学年の受け入れに係る対応策を示すこととしており、新制度への移行を見据えて取り組んでいく。

(参考)

前年度決算額	217,213
--------	---------

評価結果	共働きや一人親家庭の増加により、放課後児童クラブのニーズは年々高まっており、この傾向は今後も続くものと考えている。このため、大規模化が進行している児童クラブの分割等に引き続き取り組む。 また、平成26年度に放課後児童クラブの基準を条例で定め、新制度への移行を見据えて取り組んでいく。
------	--

所属名	教育委員会事務局 学校教育課
-----	-------------------

教015	項目名	教育活動奨励事業費
------	-----	-----------

主要な施策	教育奨励費等	ページ	43
-------	--------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 学校教育課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要
-------

会計名	一般会計
款	教育費
項	教育総務費
目	教育振興費

(単位:千円)	
当初予算額	7,474

補正予算額	1,000
-------	-------

予算流・充用額	19
---------	----

最終予算額	8,493
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	7,508
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	7,508
計	7,508

【問合せ先】指導係 0857-20-3357

【9次総の施策体系】1102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 8月補正予算・P39(教004)

【事業の概要】

- ① 教職員の資質向上を図る取り組みの一環として、教育論文表彰を実施する。
- ② 科学作品展・科学発表会を科学振興会に、連合音楽会・児童作品展を小学校教育研究会に委託して実施する。
- ③ 合併地域及び鳥取地域のうち鳥取駅から半径10kmの小中学校に対し、各種公式大会参加のためのバス借上げ料の一部を措置する。
- ④ 平成25年度新設した千代南中学校の開校記念式典を実施する。
- ⑤ 千代南中学校を支援する組織の立ち上げにあたり、その組織への助成を実施する。

【事業の成果】

- ① 論文表彰(表彰状、記念品)
- ② 委託料 326千円
- ③ バス等借り上げ料 4,542千円
- ④ 開校記念式典実施(記念品、司会進行)
- ⑤ 鳥取市統合等新設学校支援組織補助金 2,500千円

【今後の課題・方向性】  
 新設の千代南中学校の支援組織に対する助成は平成25年度限りで終了とする。

(参考)

前年度決算額	5,729
--------	-------

評価結果	小中学校の児童生徒の教育奨励及び教職員の資質向上を図るため、今後も継続していくことが必要である。
------	--

教016	項目名	中学校区で創る・広げる学力向上プラン事業費
------	-----	-----------------------

主要な施策	中学校区で創る・広げる学力向上プラン事業費	ページ	43
-------	-----------------------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 学校教育課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要
-------

会計名	一般会計
款	教育費
項	教育総務費
目	教育振興費

(単位:千円)	当初予算額	0
---------	-------	---

補正予算額	2,000
-------	-------

予算流・充用額	51
---------	----

最終予算額	2,051
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	2,029
--------	-------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	1,981
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	48
計	2,029	

【問合せ先】地域・家庭教育係 0857-20-3376

【9次総の施策体系】1102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 6月補正予算・P33(教002)

【事業の概要】  
 中学校区の小・中学校が、計画・実施・評価・改善のプランを明確にして、授業改革等の学力向上策に協働して取り組み、9年間を通した学力の向上につなげるため、県の決定を受けて4中学校区を指定し研究実践を行う。

【事業の成果】  
 指定中学校区における学力向上のためのPDCAサイクルの確立に関する研究実践を行った。  
 平成25年度事業開始(1年間)  
 国府・河原・千代南・青谷中校区を指定校として事業を実施。

【今後の課題・方向性】  
 今後は、トリニティープラン・小中一貫教育推進プランとともに、中学校区を単位とした事業を整理し、学力向上も含めた総合的なPDCAサイクルを確立することが必要である。

(参考)	前年度決算額	0
------	--------	---

評価結果	指定中学校区では、学力調査等の結果を活用しながら実態を把握し、課題を設定して小・中学校が共通実践をすすめる体制ができた。今後は、トリニティープラン・小中一貫教育推進プランとともに、中学校区を単位とした事業を整理し、学力向上も含めた総合的なPDCAサイクルを確立することが必要である。
------	---



教017	項目名	姫路市鳥取市中学生交流事業費
------	-----	----------------

主要な施策	姫路市鳥取市中学校交流事業費	ページ	43
-------	----------------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 学校教育課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	
一般会計	
款	教育費
項	教育総務費
目	教育振興費

(単位:千円)	
当初予算額	442

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	442
-------	-----

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	442
--------	-----

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	442
	計	442

【問合せ先】生徒指導係 0857-20-3366

【9次総の施策体系】1102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P267(教012)

【事業の概要】  
 鳥取市中学校長会に委託し、両市の中学生が交互に訪問し、合宿生活等を通じて交流を深める。派遣と受入を1年交代で実施している。

【事業の成果】  
 平成23年度：派遣 姫路市へ中学生35人を派遣。  
 平成24年度：受入 姫路市から中学生35人を受入。  
 平成25年度：姫路市へ中学生35人、指導者8人を派遣した。

【今後の課題・方向性】  
 今後も両市の交流、生徒の成長のために有効な事業であり、事業を継続していくことが必要であると考えている。

(参考)	
前年度決算額	1,808

評価結果	43回の長い歴史を持った本交流事業は、両市の文化交流、中学生の健全育成に有効である。
------	--

教018	項目名	生徒指導専任相談員事業費
------	-----	--------------

主要な施策	生徒指導対策事業費	ページ	44
-------	-----------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 学校教育課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	教育費
項	教育総務費
目	教育振興費

(単位:千円)	
当初予算額	31,771

補正予算額	△ 363
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	31,408
-------	--------

本年度決算額	31,307
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	31,307
計	31,307

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

<p><b>事業の概要</b></p> <p>【問合せ先】生徒指導係 0857-20-3366</p> <p>【9次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P263 (教013)</p> <p>【事業の概要】 中学校生徒の学校不適応傾向の解消のため、各中学校に生徒指導専任相談員1名を配置している。</p> <p>【事業の成果】 平成23年度 18人／18校配置 平成24年度 18人／18校配置 平成25年度 17人／17校配置</p> <p>【今後の課題・方向性】 教育相談室に常駐する生徒指導専任相談員は、さまざまな悩みや不安を抱える中学生にとって安心して相談できる存在である。また、相談室登校生徒の学習支援や教室復帰支援の重要な役割も担っており、不登校担当教員などとの連携により教室復帰する生徒も少なくない。市内全中学校に配置されており、今後も継続した取り組みが必要であると考えている。</p>
---

(参考)	前年度決算額	32,836
------	--------	--------

評価結果	不適応生徒の学校復帰への足掛かりとしてまた、様々な悩みを持つ思春期の生徒にとって相談室対応は重要であると認識しているが、学校規模により活用状況に違いが見られる。配置人数は変更しないで配置の仕方を工夫したり、大規模校には複数配置したりと、配置のあり方の検討が必要と判断している。
------	--

教019	項目名	不登校対策事業費
------	-----	----------

主要な施策	不登校対策事業費	ページ	44
-------	----------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 学校教育課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	教育費
項	教育総務費
目	教育振興費

(単位:千円)	
当初予算額	620

補正予算額	△ 209
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	411
-------	-----

本年度決算額	350
--------	-----

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	350
計	350

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

<p><b>事業の概要</b></p> <p>【問合せ先】生徒指導係 0857-20-3366</p> <p>【9次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P267 (教014)</p> <p>【事業の概要】 学校不適應の専門家や地域協力員の活用により、学校不適應の解消に向けた取り組みを行う。 ① 学校不適應対策専門委員会、地域協力員の会、学校代表の会を行い、対策事業を推進する。 ② 学校不適應対策専門委員会の委員を各学校へ派遣し、助言や支援を行う。</p> <p>【事業の成果】 平成23年度 学校不適應対策専門委員会：3回開催（委員数15人） 地域協力員の会：2回開催（委員数61人） 平成24年度 学校不適應対策専門委員会：3回開催（委員数14人） 地域協力員の会：2回開催（委員数61人） 平成25年度 学校不適應対策専門委員会：4回開催（委員数15人） 地域協力員の会：2回開催（委員数60人）</p> <p>【今後の課題・方向性】 鳥取市の不登校児童生徒出現率は、全国平均に比べ高く、今後も鳥取市不適應対策専門委員会による方針をもとに、各小中学校や中学校区において未然防止と早期対応のための継続的な事業の展開が必要であり、本事業の継続が必要であると考えている。</p>
--

(参考)	
前年度決算額	326

評価結果	学校不適應の解消は、市の重点課題でもあり、学校と地域、専門機関が連携して、学校不適應の解消にあっている。今後、関係機関との早期連携、未然防止・早期対応のための情報共有の体制づくり等を充実・強化しながら、学校不適應をより進めていく必要を感じている。今後も事業の継続が必要と考えている。
------	---

教020	項目名	実践的防災教育総合支援事業費
------	-----	----------------

主要な施策	実践的防災教育総合支援事業費	ページ	43	所属名
-------	----------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	教育費
項	教育総務費
目	教育振興費

(単位:千円)	
当初予算額	0

補正予算額	1,318
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	1,318
-------	-------

本年度決算額	860
--------	-----

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	851
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	9
計		860

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】生徒指導係 0857-20-3366

【9次総の施策体系】1102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 6月補正予算・P33(教003)

【事業の概要】  
 湖東中学校区を研究指定地域として定め、防災教育の指導法や教育手法の開発・普及、学校外の専門家による指導助言等により学校における防災教育・防災管理の充実を図る。

【事業の成果】  
 湖東中校区において実施(平成25年度～平成26年度 2年間の予定)  
 平成25年度 860,110円  
 ①防災に関する学習の実施  
 ②防災に関する指導法の開発・普及  
 ③防災アドバイザーの活用  
 ④緊急地震速報受信機の設置・活用による実践的な防災訓練の実施

【今後の課題・方向性】  
 本事業は、平成25、26年度の2年間の事業であり、事業終了後は、成果と課題をまとめ、学校が取り組む防災教育の普及と推進を図っていく。

(参考)	
前年度決算額	0

評価結果	本事業は、平成25・26年度2か年の国の委託事業である。事業終了後は、成果と課題をまとめ、学校が取り組む防災教育の普及と推進を図っていく。
------	---

教育委員会事務局  
 学校教育課

教021	項目名	語学指導等外国青年招致事業費
------	-----	----------------

主要な施策	語学指導等外国青年招致事業費	ページ	44	所属名
-------	----------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	教育費
項	教育総務費
目	教育振興費

(単位:千円)	
当初予算額	62,835

補正予算額	△ 681
-------	-------

予算流・充用額	1
---------	---

最終予算額	62,155
-------	--------

本年度決算額	62,020
--------	--------

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	235
	一般財源	61,785
計		62,020

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	235
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】地域・家庭教育係 0857-20-3376

【9次総の施策体系】1102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P267(教015)

【事業の概要】  
 財団法人自治体国際化協会から斡旋を受けた外国青年を語学指導助手として各中学校に配置し、英語指導及び国際理解教育の補助を行う。また、中学校区内の小学校に定期的に派遣し、小学校の外国語活動に携わらせる。

【事業の成果】  
 語学指導等外国青年を13名配置した。(平成21年度～平成25年度)

【今後の課題・方向性】  
 国が、グローバル化に対応した英語教育改革として、小学校における英語教育の拡充の方針を打ち出していることから、語学指導等外国青年の活用はより一層重要となる。そのため、継続的に語学指導等外国青年を確保することが必要である。

(参考)	前年度決算額	62,494
------	--------	--------

評価結果	中学校区に語学指導助手を配置することで、小中学校を通じた英語及び国際理解教育の指導補助が可能となり、児童生徒の学習意欲も高まってきている。今後、国の動きを注視しながら、配置及び活用を工夫し、児童生徒のコミュニケーション能力の一層の向上を図ることが大切である。
------	---

所属名  
 教育委員会事務局  
 学校教育課

教022	項目名	市中学校文化連盟補助
------	-----	------------

主要な施策	小・中学校文化事業費	ページ	44
-------	------------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 学校教育課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要
-------

会計名	一般会計
款	教育費
項	教育総務費
目	教育振興費

【問合せ先】学務係 0857-20-3356

【9次総の施策体系】1102

【予算計上の経過】  
予算事業別概要目次  
12月補正予算・P69（教010）

【事業の概要】  
市中学校合同文化祭、全日本吹奏楽コンクール中国大会派遣、全国中学校総合文化祭派遣等の事業費に対して補助金を支出する。

【事業の成果】  
○全日本吹奏楽コンクール中国大会派遣に対する補助金  
平成23年度 東中・高草中・国府中（広島市にて開催）  
平成24年度 東中・高草中（鳥取市にて開催）  
平成25年度 南中・中ノ郷中（倉敷市にて開催）  
○全国中学校総合文化祭派遣に対する補助金  
平成25年度 国府中（山口市にて開催）

【今後の課題・方向性】  
本事業は、中学校の文化活動の充実、発展と向上をはかること、及びこれらに対する保護者の経済的負担の軽減を目的としており、今後も継続して実施する必要がある。

(単位:千円)

当初予算額	797
補正予算額	919

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	1,716
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	1,716
--------	-------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	1,716
	計	1,716

(参考)

前年度決算額	610
--------	-----

評価結果	この事業は中学校の文化活動の充実、発展と向上をはかること、及びこれらに対する保護者の経済的負担の軽減を目的としており、今後も継続して実施する必要がある。
------	--

教023	項目名	小学校外国語活動人材支援事業費
------	-----	-----------------

主要な施策	国際理解教育推進事業費	ページ	44
-------	-------------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 学校教育課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	教育費
項	教育総務費
目	教育振興費

(単位:千円)	
当初予算額	2,720

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	2,720
-------	-------

本年度決算額	2,537
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	2,537
計	2,537

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要	<p>【問合せ先】教育センター 0857-36-6060</p> <p>【9次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P264 (教016)</p> <p>【事業の概要】 小学校外国語活動のねらいであるコミュニケーション能力の素地の育成を図るために、外国語活動の授業を補助する地域人材を活用し、小学校の外国語活動の円滑な実施と充実した外国語活動の実践を行う。</p> <p>【事業の成果】 各学校が、自主的に地域の人材を依頼したり、鳥取市教育センターの人材バンクから紹介を受けたりして、5・6年生1クラスあたり、年間8時間分の外国語活動授業において指導の補助を行った。 平成23年度：39校 945回 2,382,000円 平成24年度：38校 975回 2,437,500円 平成25年度：38校 1,015回 2,537,500円</p> <p>【今後の課題・方向性】 担任単独の授業に加えて、外国語に堪能な地域人材やネイティブスピーカーとふれ合うことは、児童が外国語を通してコミュニケーション能力の素地を養うために大変効果的である。また、必要に応じて、外国語活動支援員の研修を行い、小学校外国語活動の趣旨に沿った指導力の向上を図っていくことが必要である。</p>
-------	--

(参考)	
前年度決算額	2,445

評価結果	国の動向や小学校で新しく導入された外国語活動を中学校での外国語の学習に効果的につなぐためにも、地域の人材や留学生を活用した支援事業は効果的である。ネイティブスピーカーに触れることにより、外国語や外国に対する興味・関心を高め、中学校での学習をより意欲的なものにとすると大いに期待される。
------	--

教024	項目名	学校図書館活用推進事業費
------	-----	--------------

主要な施策	学校図書館活用推進事業費	ページ	44	所属名
-------	--------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	教育費
項	教育総務費
目	教育振興費

(単位:千円)	
当初予算額	106,260

補正予算額	113
-------	-----

予算流・充用額	△ 19
---------	------

最終予算額	106,354
-------	---------

本年度決算額	106,264
--------	---------

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	106,264
	計	106,264

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】学務係 0857-20-3356

【9次総の施策体系】1102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P267 (教017)

【事業の概要】  
 下記業務を行うため、学校図書館司書を配置する。  
 ① 図書館資料の収集や児童生徒及び教員の利用に供する業務、及び児童生徒の読書指導や総合的な学習の時間・各教科の学習に活用する図書の開架相談業務  
 ② 朝の読書や読み聞かせ、さらに他の学校図書館、県市立図書館との連携業務  
 ③ 要望がある学校について、学校図書館を土曜日に開放するための業務  
 ④ 充実した図書館経営を行うための研修への参加

【事業の成果】  
 平成22年度～平成23年度 計57名配置  
 平成24年度 計58名配置  
 平成25年度 計60名配置

【今後の課題・方向性】  
 今後は、司書の専任配置を継続し、学校図書館の機能を高めていく必要がある。

(参考)

前年度決算額	102,787
--------	---------

評価結果	学校図書館司書は児童生徒の教育力向上のため重要な役割を担っており、本年度、全校単独配置ができた。今後も、専任配置を継続しながら、更に学校図書館の機能を高めるために司書の研修等を行っていきたい。
------	--

所属名	教育委員会事務局 学校教育課
-----	-------------------



教025	項目名	地域で学ぶ職場体験活動事業費
------	-----	----------------

主要な施策	地域で学ぶ職場体験活動事業費	ページ	44	所属名
-------	----------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	教育費
項	教育総務費
目	教育振興費

(単位:千円)	
当初予算額	3,064

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	3,064
-------	-------

本年度決算額	3,064
--------	-------

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	3,064
計		3,064

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】指導係 0857-20-3357

【9次総の施策体系】1102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P267(教018)

【事業の概要】  
 事業は、「鳥取市ワクワクとっとり推進協議会」に委託して実施し、市内中学校2年生全員が数名ずつのグループに分かれ、中学校区を中心に地域の事業所や施設等で連続する3～5日間の職場体験活動を行う。

【事業の成果】  
 各中学校区では、「中学校区推進協議会」を中心に事業を実施しており、学校・地域・保護者の協働が進展した。生徒は、事業を通して働くことの意義や喜び、あいさつや言葉遣い等の社会人としてのマナーの大切さに改めて気付く機会となった。

平成23年度：中学生1,713人が参加(18校で実施)  
 平成24年度：中学生1,584人が参加(18校で実施)  
 平成25年度：中学生1,663人が参加(17校で実施)

【今後の課題・方向性】  
 新学習指導要領の中でキャリア教育の重要性は高まっており、本事業の意義は大きい。一方で、各教科の授業時数増加もあり、本年度は体験活動日数を3～5日としたが、その検証が必要である。

(参考)	
前年度決算額	3,003

評価結果	キャリア教育の中で中核をなす事業であり、「生きる力」を身につけ、しっかりとした職業観・勤労観の育成に役立っている。地域で生徒を育むという意識の高揚を図り、鳥取市教育ビジョンめざす子ども像「ふるさとを思い、志を持つ子」の育成につながる有効な事業であり、継続を望む。
------	---

所属名	教育委員会事務局 学校教育課
-----	-------------------

教026	項目名	複式学級解消事業費
------	-----	-----------

主要な施策	複式学級解消事業費	ページ	44	所属名
-------	-----------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	教育費
項	教育総務費
目	教育振興費

(単位:千円)	
当初予算額	37,173

補正予算額	△ 855
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	36,318
-------	--------

本年度決算額	36,202
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	36,202
計	36,202

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】指導係 0857-20-3357

【9次総の施策体系】1102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P267 (教019)

【事業の概要】  
 小学校の複式学級への支援は、国の基準（公立義務教育諸学校の学級編成及び教職員定数の標準に関する法律）では2箇学年で17名、県の基準（鳥取県公立小・中・特別支援学校学級編成基準）では2箇学年で16名で対象となるが、15名以下は対象外である。2箇学年で15名以下となる学級に対し複式学級支援臨時教員を配置することにより、中山間地域小規模校の特性を生かした決め細かな指導の充実を図る。

【事業の成果】  
 平成23年度： 9名配置（神戸小、東郷小、明治小、瑞穂小各2名、逢坂小1名）  
 平成24年度： 8名配置（神戸小、東郷小、明治小、瑞穂小各2名）  
 平成25年度： 10人配置  
 （神戸小、東郷小、明治小、瑞穂小各2名、西郷小、逢坂小各1名）

【今後の課題・方向性】  
 複式学級の学級運営上、人的配置をすることはきめ細かい指導の充実等に有効であり、今後も配置していく必要がある。また、今後は担任補助として配置されている現在の加配教員（講師）が、担任することが可能となるよう制度の見直しを図る必要がある。あわせて講師の人材確保の方法について、今後検討が必要である。

(参考)	
前年度決算額	28,417

評価結果	2箇学年で15名以下となる学級に対し複式学級支援臨時教員を配置することにより、複式学級による種々の困難点を解消し円滑な学級運営を図る上で効果の高い事業である。今後も配置の必要性があるとともに、加配教員（講師）が学級を担任できるよう制度の見直しも検討していきたい。また、講師の人材確保の方法について、今後検討が必要である。
------	--

教育委員会事務局  
 学校教育課

教027	項目名	自立と創造の学校づくり推進事業費
------	-----	------------------

主要な施策	教育改革推進事業費	ページ	43
-------	-----------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 学校教育課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	教育費
項	教育総務費
目	教育振興費

(単位:千円)	
当初予算額	19,188

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	19,188
-------	--------

本年度決算額	19,188
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	19,188
計	19,188

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

<p><b>事業の概要</b></p> <p>【問合せ先】指導係 0857-20-3357</p> <p>【9次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P267 (教020)</p> <p>【事業の概要】 地域に開かれた魅力ある学校づくりを実現するため、学校の創意工夫・自主的な取組に関して、各学校が企画立案したものを教育委員会が評価・査定をし、必要な予算を措置する。市は、鳥取市小学校教育研究会及び鳥取市中学校教育振興会に委託して事業を実施する。</p> <p>【事業の成果】 ① 一律支援予算による事業 従来より効果的に展開されてきた事業並びに日常の教育活動について、児童・生徒数に応じて自主的に学校が運営できる予算として配分した。 ② 特別支援予算による事業 特色ある学校づくりのために独自に企画立案した計画書をもとに成果が期待される事業に対して、評価・査定を行った上で予算配分した。 平成23年度：19,763,000円、平成24年度：19,455,000円、平成25年度：19,188,000円</p> <p>【今後の課題・方向性】 本事業により、創意ある教育活動が推進されており、児童・生徒の学力向上はもとより、それぞれの学校及び地域の実態に応じた魅力ある学校づくりが進んでいる。本事業を活用した魅力ある学校づくりに対しての地域の評価も高い。今後は、中学校区の特色ある取組への支援拡充も含め、他事業との関連性を見直し、事業内容の再構築を図りながら充実させていきたい。</p>
---

(参考)	
前年度決算額	19,455

評価結果	地域に開かれた魅力ある学校づくりを実現するため、学校の創意工夫・自主的な取組を進めていく必要がある。本事業を活用した魅力ある学校づくりに対しての地域の評価も高い。今後は、小中一貫教育推進プランを基盤とした中学校区の特色ある取組への支援拡充も含め、他事業との関連性を見直し、事業内容の再構築を図りながら一層充実させていきたい。
------	--

教028	項目名	小中一貫教育推進事業費
------	-----	-------------

主要な施策	教育改革推進事業費	ページ	43	所属名
-------	-----------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	教育費
項	教育総務費
目	教育振興費

(単位:千円)	
当初予算額	1,191

補正予算額	△ 120
-------	-------

予算流・充用額	△ 110
---------	-------

最終予算額	961
-------	-----

本年度決算額	734
--------	-----

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	734
計		734

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】地域・家庭教育係 0857-20-3376

【9次総の施策体系】1102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P267 (教021)

【事業の概要】  
 湖南学園において、9年間を見通した教育課程の編成と授業改善について実践を積み重ね、授業公開を通してその成果を広く発信する。他の中学校区は、それを先行事例としながら、トリニティープラン等で培われた学校・家庭・地域が一体となった教育基盤のもとに、9年間を見通した一貫教育を推進する。

【事業の成果】  
 ① 湖南学園における9年間を見通した教育実践と研究発表会の実施  
 ② 各中学校区における「小中一貫教育推進プラン」に基づいた教育実践  
 ○外部講師の派遣による研修会の開催  
 平成23年度 15回  
 平成24年度 10回  
 平成25年度 11回

【今後の課題・方向性】  
 「小中一貫教育推進プラン」の成果をもとに、家庭・地域と役割分担しながら、中学校区が一体となった教育を推進していくことが大切である。そのために、各中学校区が創造的な取組を推進しやすい支援が必要である。

(参考)	
前年度決算額	905

評価結果	各中学校区では、小中一貫教育の重要性への意識が高まり、特色ある取組が進んできた。今後は、本事業の成果をもとに、家庭・地域と役割分担しながら、中学校区が一体となった教育を推進していくことが大切である。そのために、中学校区を単位とした事業を整理し、より創造的な取組を推進しやすいような支援を行うことが必要である。
------	--

所属名	教育委員会事務局 学校教育課
-----	-------------------

教029	項目名	モラルやマナー・ルールを大切にする風土(人)づくり事業費
------	-----	------------------------------

主要な施策	教育改革推進事業費	ページ	43
-------	-----------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 学校教育課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	教育費
項	教育総務費
目	教育振興費

【問合せ先】地域・家庭教育係 0857-20-3376

【9次総の施策体系】1102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P267（教022）

【事業の概要】

- ① モラル向上パンフレット・チラシ・ポスターの配布による啓発活動
- ② モラルやマナーを大切にする地域の自主的な啓発活動の支援  
 （「草の根活動」促進委託事業）

【事業の成果】

- ① リーフレット、ポスター印刷等の配布  
 ・新入生児童、子育て・親育ち講座、鳥取市教育フォーラム等
- ② 「草の根活動」事業委託  
 ・挨拶運動、親子地域清掃活動、モラル等に関する講演会の実施等  
 平成23年度 50,000円×12団体  
 平成24年度 50,000円×11団体  
 平成25年度 50,000円×11団体

【今後の課題・方向性】  
 今後は、トリニティープランや小中一貫教育推進プランとともに、中学校区を単位とした事業を整理し、学校・家庭・地域が役割分担しながら、中学校区でのモラルやマナー・ルールを大切にする風土(人)づくりをさらに効果的に進める必要がある。

(単位:千円)

当初予算額	1,160
補正予算額	△ 300

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	860
-------	-----

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	696
--------	-----

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	696
計	696	

(参考)

前年度決算額	853
--------	-----

評価結果	実施方法の改善が必要である。今後は、トリニティープランや小中一貫教育推進プランとともに、中学校区を単位とした事業を整理し、学校・家庭・地域が役割分担しながら、中学校区でのモラルやマナー・ルールを大切にする風土(人)づくりをさらに効果的に進める必要がある。
------	---

教030	項目名	小規模校特別転入制度推進費
------	-----	---------------

主要な施策	小規模校特別転入制度推進費	ページ	43
-------	---------------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 学校教育課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	教育費
項	教育総務費
目	教育振興費

【問合せ先】 校区審議室 0857-20-3357

【9次総の施策体系】 1102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P267（教023）

【事業の概要】  
 中山間地域小規模校では、地域の特性を活かした特色ある教育が意欲的に進められ成果をあげている。校区を越えてこれら中山間地域小規模校への通学を認めることで、中山間地域小規模校に入学・転学することを希望する児童・保護者にその機会を提供する。

【事業の成果】  
 1 神戸小・東郷小・明治小・瑞穂小・逢坂小・湖南学園小・西郷小の7校が特認校として事業を実施。  
 2 小規模校転入制度実施推進委員会を年3回実施し、特認校区の取組の情報交換、市民への制度の周知を実施。  
 3 市民、幼・保育園、学校等への情報提供及び特認校区での説明・啓発活動の実施。  
 平成23年度：18名制度利用  
 平成24年度：25名制度利用  
 平成25年度：20名制度利用（神戸小2名、東郷小7名、湖南学園小11名）

【今後の課題・方向性】  
 中山間地域小規模校の特色ある学校づくりを支援すると共に、転入学を希望する児童・保護者にその機会を保障していくために制度を維持していく必要がある。

(単位:千円)

当初予算額	330
補正予算額	0

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	330
-------	-----

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	329
--------	-----

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	329
計	329

(参考)

前年度決算額	170
--------	-----

評価結果	市民への制度の周知を継続的に行うことで、制度を活用して転入学をする児童が年々増加してきている。また、一連の取組を通して中山間地域小規模校の魅力ある学校づくりや地域の特色を発信する良い機会となっている。しかし、制度利用が一部の学校に限られており、啓発広報活動の工夫や、特色ある学校づくりへの支援が必要である。
------	---

教031	項目名	校区審議会運営事業費
------	-----	------------

主要な施策	校区審議会運営事業費	ページ	43	所属名
-------	------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	教育費
項	教育総務費
目	教育振興費

(単位:千円)	
当初予算額	676

補正予算額	493
-------	-----

予算流・充用額	△ 20
---------	------

最終予算額	1,149
-------	-------

本年度決算額	768
--------	-----

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	768
計	768

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】校区審議会室 0857-20-3089

【9次総の施策体系】1102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 8月補正予算・P39 (教005)

【事業の概要】  
 校区審議会において、平成18年度に策定した校区再編基本構想に基づき、平成21年度から平成25年度までの5年間を後期として広域的な観点から検討を行い、必要に応じて校区再編を実施する。

【事業の成果】  
 [平成25年度]  
 1 12人(第12期は15人)の委員で構成し、年間延べ6回の審議会を開催。  
 2 西部地域の学校のあり方を含めた全市域の校区のあり方について、地域の意見交換会を実施。  
 3 西部地域の中学校の現地視察を実施。  
 4 西部地域の中学校のあり方について答申(気高・青谷両中学校をそれぞれ現位置で改築。)  
 5 これまでの校区審議経過のまとめと次期審議会への申し送り事項を報告。

【今後の課題・方向性】  
 全市域の小中学校のあり方について、地域で議論する組織づくりの支援と、その地域組織の意見を集約しながら継続して審議していく。  
 また、審議会において「地域で議論する組織づくり」の推進と併せ、中学校区エリア等ごとに議論の方向性(テーマ)を提案していく手法が検討されるなど、精力的に取り組まれており、学校区に関する課題に対する審議は今後も継続していく必要がある。

(参考)	
前年度決算額	594

評価結果	より良い教育環境の構築のため、校区のあり方を検討する校区審議会の審議は大変重要である。今後も地域や保護者等へ正確な情報提供や選択肢を説明し、丁寧に意見集約していく必要がある。
------	---

所属名	教育委員会事務局 学校教育課
-----	-------------------

教032	項目名	教育センター運営事業費
------	-----	-------------

主要な施策	教育センター運営事業費	ページ	43	所属名
-------	-------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	教育費
項	教育総務費
目	教育振興費

(単位:千円)	
当初予算額	21,150

補正予算額	△ 2,815
-------	---------

予算流・充用額	54
---------	----

最終予算額	18,389
-------	--------

本年度決算額	18,162
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	1,701
一般財源	16,461
計	18,162

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	1,602
手数料	0
財産収入	0
寄付金	50
繰入金	0
諸収入	49
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】教育センター 0857-36-6060

【9次総の施策体系】1102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P268 (教024)

【事業の概要】  
 県が対応してきた適応指導教室による児童生徒への支援を継続、充実するとともに、教育相談機能を位置づけ、不登校やいじめに対する相談活動を推進する。また、教職員の指導力向上を図るための研修を企画、実施するなど、市内の児童生徒、保護者、教職員にとって様々な支援を行う総合的、実践的な役割を果たす。

【事業の成果】  
 平成23年度 ①教育相談 373件  
 ②適応指導教室通級 18名  
 ③研修企画(教職員向け18回、児童向け0回)  
 平成24年度 ①290件 ②26名 ③教職員向け13回、児童向け0回  
 平成25年度 ①486件 ②25名 ③教職員向け5回、児童向け4回

【今後の課題と方向性】  
 学校不適応児童生徒の実態把握と支援について学校教育課と連携しながら個々の児童生徒の課題を把握し、個に応じた支援策を講じていく必要がある。また、研修企画についても特別支援教育の視点や学級作りを意識した新たな企画が求められている。さらに、小中のつながりを深めながら事業を企画する必要がある。そのためにも本センターの質の充実を一層図る必要がある。

(参考)	
前年度決算額	19,223

評価結果	学校不適応児童生徒の実態把握と支援について、個々の児童生徒の課題を把握し、個に応じた支援策を講じていく必要がある。また、近年小学校低学年での不適応も増え、関係機関との連携、特別支援教育の視点や学級作りを意識した新たな研修企画が求められている。さらに、小中学校のつながりを深めながら事業を企画する必要がある。
------	---

所属名	教育委員会事務局 学校教育課
-----	-------------------



教033	項目名	特別支援教育支援員配置事業費
------	-----	----------------

主要な施策	特別支援教育支援員配置事業費	ページ	43
-------	----------------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 学校教育課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	教育費
項	教育総務費
目	教育振興費

【問合せ先】 指導係 0857-20-3357

【9次総の施策体系】 1102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P267（教025）

【事業の概要】  
 障がいのある児童生徒個々のニーズに応じた学習指導や生活指導の支援を行う。

【事業の成果】  
 平成23年度特別支援教育支援員配置＝20名 25,905,898円  
 平成24年度特別支援教育支援員配置＝23名 30,566,311円  
 平成25年度特別支援教育支援員配置＝25名 32,506,056円

【今後の課題・方向性】  
 全国的に、学習中に個別の配慮を必要とする児童生徒が増加しており、本市においてもますます特別支援教育支援員の配置要望校は増える見込みである。今後は、財源を確保した上で、希望校全てに配置を拡充していく必要がある。

(単位:千円)

当初予算額	36,912
補正予算額	△ 3,000
予算流・充用額	0

最終予算額	33,912
-------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	32,506
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	32,506
計	32,506

(参考)

前年度決算額	30,566
--------	--------

評価結果 年々、配置数を拡充してきたところであるが、将来的には希望する全小中学校に配置する方針である。今後は、財源を確保した上で、希望校への配置を拡充していく必要がある。一方、事業拡充に伴い、支援員の人材確保の問題がある。今後は、鳥取市が独自に任用の要件としている「教職員免許状を有する」という資格要件を緩和するなどを検討していきたい。

教034	項目名	スクールソーシャルワーカー活用事業費
------	-----	--------------------

主要な施策	スクールソーシャルワーカー活用事業費	ページ	43
-------	--------------------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 学校教育課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要
-------

会計名	一般会計
款	教育費
項	教育総務費
目	教育振興費

【問合せ先】生徒指導係 0857-20-3366

【9次総の施策体系】1102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P267（教026）

【事業の概要】  
 学校教育課に社会福祉士等の資格を持つ人材をスクールソーシャルワーカーとして配置し、学校や関係諸機関との連絡調整や支援会議への参加、該当の児童生徒及び保護者に対しての相談や働きかけを行う。

【事業の成果】  
 スクールソーシャルワーカーとして2名を配置し、該当の児童生徒及び保護者に対する相談や働きかけを早期に行うことができた。  
 平成23年度 2名配置（関係諸機関との連携及びケース会議実施件数30件）  
 平成24年度 2名配置（関係諸機関との連携及びケース会議実施件数49件）  
 平成25年度 2名配置（関係諸機関との連携及びケース会議実施件数86件）

【今後の課題・方向性】  
 不登校、問題行動等の問題は、学校だけで対応することが困難な場合も少なくない。これらの解決のためには、関係機関との連携が必要であり、教育と福祉の両面から事例をとらえ専門的な知識や経験を持って早期対応にあたるスクールソーシャルワーカーの役割は大きい。学校・家庭・関係機関の円滑な連携の要であり、今後も本事業の積極的な活用を図りたい。

(単位:千円)

当初予算額	4,023
補正予算額	△ 1,359

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	2,664
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	2,504
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	1,669
地方債	0
その他	0
一般財源	835
計	2,504

(参考)

前年度決算額	2,566
--------	-------

評価結果	学校からの相談事案が年々増加している。不適応児童生徒の背景が複雑化してきている現状において、福祉と教育の専門性や経験を生かしたスクールソーシャルワーカーの働きは欠かすことのできない学校支援である。学校不適応対策の取り組みとして大変有効であると考えている。
------	---

教035	項目名	遠距離通学費補助金(小学校)
------	-----	----------------

主要な施策	遠距離通学費補助金	ページ	43
-------	-----------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 学校教育課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	教育費
項	教育総務費
目	教育振興費

【問合せ先】学務係 0857-20-3356

【9次総の施策体系】1102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P267(教027)

【事業の概要】  
 遠距離、地勢的危険等の条件を有する地域から通学する児童の保護者に対し、バス定期券の購入又は自家用車等で送迎により通学にかかる経費の一部を補助し、経済的負担の軽減を図る。

【事業の成果】  
 遠距離通学児童の保護者の経済的負担の軽減が図られた。  
 平成23年度 645人に対して支給  
 平成24年度 658人  
 平成25年度 602人

【今後の課題・方向性】  
 遠距離、地勢的危険等の条件を有する地域から通学する児童の保護者に対し、経済的負担を軽減することは、今後も必要である。

(単位:千円)

当初予算額	15,524
補正予算額	623
予算流・充用額	△12

最終予算額	16,135
-------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	16,087
--------	--------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	806
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	15,281
計	16,087	

(参考)

前年度決算額	16,609
--------	--------

評価結果	遠距離、地勢的危険等の条件を有する地域から通学する児童の保護者に対し、経済的な負担を軽減することは、今後も必要である。また、平成22年度に全市域統一した制度で実施している事業であり、課題等が生じた場合は、適宜見直しを図っていく必要があると考えている。
------	---

教036	項目名	遠距離通学費補助金(中学校)
------	-----	----------------

主要な施策	遠距離通学費補助金	ページ	43
-------	-----------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 学校教育課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	教育費
項	教育総務費
目	教育振興費

【問合せ先】学務係 0857-20-3356

【9次総の施策体系】1102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P267(教028)

【事業の概要】  
 遠距離、地勢的危険等の条件を有する地域から通学する生徒の保護者に対し、バス定期券の購入又は自家用車等で送迎により通学にかかる経費の一部を補助し、経済的負担の軽減を図る。

【事業の成果】  
 遠距離通学生徒の保護者の経済的負担の軽減が図られた。  
 平成23年度 98人に対して支給  
 平成24年度 108人  
 平成25年度 104人

【今後の課題・方向性】  
 遠距離、地勢的危険等の条件を有する地域から通学する生徒の保護者に対し、経済的負担を軽減することは、今後も必要である。

(単位:千円)

当初予算額	9,165
補正予算額	212

予算流・充用額	13
---------	----

最終予算額	9,390
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	9,381
--------	-------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	293
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	9,088
計	9,381	

(参考)

前年度決算額	7,431
--------	-------

評価結果	遠距離、地勢的危険等の条件を有する地域から通学する生徒の保護者に対し、経済的負担を軽減することは、今後も必要である。また、平成22年度に全市域統一した制度で実施している事業であり、課題等が生じた場合は、適宜見直しを図っていく必要があると考えている。
------	--

教037	項目名	郡山市鳥取市小学生交流事業費
------	-----	----------------

主要な施策	郡山市鳥取市小学生交流事業費	ページ	43	所属名
-------	----------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	教育費
項	教育総務費
目	教育振興費

(単位:千円)	
当初予算額	1,802

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	1,802
-------	-------

本年度決算額	1,517
--------	-------

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	1,517
計		1,517

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】生徒指導係 0857-20-3366

【9次総の施策体系】1102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P267(教029)

【事業の概要】  
 郡山市との交流を深めるため、両市の小学生を隔年で双方の市に派遣し、両市の特色を生かした交流を行う。両市の小学生が体験活動や宿泊等で交流活動を行う。

【事業の成果】  
 平成23年度：鳥取大学附属小学校を含む市内45校が郡山市内58校へ「応援メッセージ」を作成し、届けた。  
 平成24年度：15校22名の児童が郡山市を訪問した。  
 平成25年度：15校15名の児童が郡山市児童を迎え交流活動を行った。両市児童が自然体験活動や歴史・文化理解等を通して絆を深め、姉妹都市としての結びつきを強めた。

【今後の課題・方向性】  
 郡山市と鳥取市の小学生が隔年で双方の市を訪問し、自然体験活動等を行う。事業は、鳥取市小学校長会に委託し実施する。

(参考)	
前年度決算額	1,703

評価結果	相互に訪問しての交流事業を継続し、ふるさとを思う心を自覚するとともに姉妹都市としての絆を一層深めていく必要がある。
------	---

教育委員会事務局  
 学校教育課

教038	項目名	中山間地域ふるさと体験活動支援事業費
------	-----	--------------------

主要な施策	中山間地域ふるさと体験活動支援事業費	ページ	43
-------	--------------------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 学校教育課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	教育費
項	教育総務費
目	教育振興費

(単位:千円)	
当初予算額	7,593

補正予算額	△ 2,116
-------	---------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	5,477
-------	-------

本年度決算額	5,474
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	5,400
その他	0
一般財源	74
計	5,474

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要	<p>【問合せ先】校区審議室 0857-20-3376</p> <p>【9次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P269 (教030)</p> <p>【事業の概要】 児童が、佐治町の農山村で生活体験を通じて、豊かな人間性や社会性などを育むとともに、ふるさとの自然や文化のすばらしさ、人のあたたかさを感じることで、ふるさとを大切に、強い志をもつ子どもを育成する。</p> <p>【事業の成果】 市内小学校が2泊3日で以下の内容の体験活動を実施。 ①林業体験活動 ②郷土料理作り体験活動 ③農林家暮らし体験 ④和紙作り体験活動 ⑤佐治谷話の語り部体験 ⑥魚のつかみ取り体験 ⑦星空観察 等 平成23年度：小学校 5校実施 平成24年度：小学校 9校実施 平成25年度：小学校 11校実施 (宮ノ下小・美和小・中ノ郷小・大正小・賀露小・遷喬小・末恒小・湖山西小・津ノ井小・明德小・福部小)</p> <p>【今後の課題・方向性】 参加児童は、農山村での自然・文化体験を通して、地域の歴史や自然に対する興味・関心が高まり、ふるさとや人との関わりを大切に思う気持ちが育まれている。実施校が年々増加してきており、今後も本市の豊かな教育資源を活用した教育実践を支援していく必要がある。しかし、受け入れが佐治町のみでは、実施に限度が生じる。佐治町以外の農山村地にも受け入れ可能な体制づくりを進めていくことが必要であると考え。</p>
-------	---

(参考)	
前年度決算額	4,662

評価結果	新市の豊かな地域資源を活用した教育活動を支援していくため、今後も実施校を増やしていくことが大切である。
------	---

教039	項目名	ふるさとの先輩活用事業費
------	-----	--------------

主要な施策	ふるさとの先輩活用事業費	ページ	43	所属名
-------	--------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	教育費
項	教育総務費
目	教育振興費

(単位:千円)	
当初予算額	900

補正予算額	△ 577
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	323
-------	-----

本年度決算額	322
--------	-----

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	322
計	322	

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】教育センター 0857-36-6060

【9次総の施策体系】1102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P272 (教032)

【事業の概要】  
 鳥取市出身の人材で、広く角界で活躍している人材を講師に迎え、直接、生徒に講話や講義を行ってもらうことを通して、郷土の先輩から学ぶ機会を設け、鳥取市教育ビジョン「ふるさとを思い 志を 持つ子」の実現を図る。

【事業の成果】  
 市内17中学校のうち、単年度で6中学校で郷土出身の人材を招聘し、全生徒対象の講演会または講義を行った。  
 平成23年度：3校で実施（北中・鹿野中・青谷中）  
 平成24年度：4校で実施（北中・佐治中・鹿野中・青谷中）  
 平成25年度：5校で実施（北中・高草中・河原中・鹿野中・青谷中）

【今後の課題・方向性】  
 招聘する人材をいかに発掘するかが大きな課題である。各学校の独自性を生かすためにも他の事業と統合しながら、生徒や学校にとってより効果的な活用が望まれる。

(参考)	
前年度決算額	370

評価結果	過去3年間の実績を見ると、毎年実施している学校もある。講師の人選等の課題で、事業実施に至らない学校も見られるが、中学生という義務教育最終段階で、先輩の講話や講義を通して自分の生き方を考える機会を設けることはとても意義深いと考えている。各学校の実情に即した資源の効果的運用も有効だと思われる。
------	---

所属名	教育委員会事務局 学校教育課
-----	-------------------

教040	項目名	学校支援ふるさと人材活用事業費
------	-----	-----------------

主要な施策	学校支援ふるさと人材活用事業費	ページ	43
-------	-----------------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 学校教育課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要	<p>【問合せ先】教育センター 0857-36-6060</p> <p>【9次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P273（教033）</p> <p>【事業の概要】 鳥取市在住の人材を小学校の教育活動支援者として活用することにより、郷土鳥取の大人とのふれあいの機会を設け、教育ビジョン「ふるさとを思い 志を持つ子」の実現を図る。</p> <p>【事業の成果】 市内小学校において各学級2回の人材活用を基本として、郷土出身者を招いた授業を実施した。 平成23年度：38校 688回実施 平成24年度：35校 728回実施 平成25年度：39校 782回実施</p> <p>【今後の課題・方向性】 地域の教育力を活かした学校運営を充実させ、地域とともにある学校づくりを推進するためにも、資源を有効に活用する方策を検討したい。</p>
-------	--

会計名	一般会計
款	教育費
項	教育総務費
目	教育振興費

(単位:千円)

当初予算額	2,570
補正予算額	△ 570

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	2,000
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	1,147
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	1,955
--------	-------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	1,147
	一般財源	808
計	1,955	

(参考)

前年度決算額	1,835
--------	-------

評価結果	地域の人材を全ての学校で効果的に活用するこの事業は、小学校現場にとってもとても意義ある事業である。児童にとっては地域の大人とのふれあいを通して学習を展開できるし、学校も地域と協働した教育運営を展開できる大きな利点がある。今後は各学校の独自性を活かした教育活動がより図れるよう、事業の統合なども検討する必要がある。
------	--



教041	項目名	道徳教育実践研究事業費
------	-----	-------------

主要な施策	道徳教育実践研究事業費	ページ	43
-------	-------------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 学校教育課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	教育費
項	教育総務費
目	教育振興費

(単位:千円)	
当初予算額	900

補正予算額	900
-------	-----

予算流・充用額	27
---------	----

最終予算額	1,827
-------	-------

本年度決算額	1,727
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	1,727
地方債	0
その他	0
一般財源	0
計	1,727

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

<p><b>事業の概要</b></p> <p>【問合せ先】指導係 0857-20-3357</p> <p>【9次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】          予算事業別概要目次          6月補正予算・P33(教004)</p> <p>【事業の概要】          ①魅力ある道徳の時間の展開          ②他教科・領域と関連させた全教育活動を通しての道徳教育の推進          ③地域・学校間の関わりを重視した地域で育てる道徳教育の展開          ④郷土資料集の作成と活用</p> <p>【事業の成果】          道徳教育に関する外部講師派遣、保護者・地域との連携、研修等特色のある道徳教育の取り組みに対する支援の実施。          道徳教育用教材として「郷土資料集」の作成と活用を図った。          平成23年度実施校：醇風小・浜坂小          平成24年度実施校：瑞穂小・青谷中          平成25年度実施校：瑞穂小・青谷小・散岐小・青谷中</p> <p>【今後の課題・方向性】          今後とも、事業を実施することで、各学校の道徳教育を充実させ、志を持ちふるさとを思いたくましく生きる力をはぐくんでいきたい。</p>
---

(参考)	
前年度決算額	721

評価結果	「難しいことにも失敗を恐れず挑戦する」「人の役に立ちたい」「いじめはいけないこと」と考える児童生徒が増加している。各学校の校内研修会の充実及び道徳教育の地域への発信など、本事業で支援してきたことが、一定の成果につながっている。今後も継続して本事業を実施しふるさとを思い志を持つ子を育成していきたい。
------	---

教042	項目名	地域で育む学校支援ボランティア事業費
------	-----	--------------------

主要な施策	地域で育む学校支援ボランティア事業費	ページ	44
-------	--------------------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 学校教育課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要	【問合せ先】校区審議室 0857-20-3376
-------	--------------------------

会計名	一般会計
款	教育費
項	教育総務費
目	教育振興費

(単位:千円)	
当初予算額	5,715

補正予算額	△ 785
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	4,930
-------	-------

本年度決算額	4,930
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	4,900
地方債	0
その他	0
一般財源	30
計	4,930

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

【9次総の施策体系】1102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P269 (教034)

【事業の概要】

- ボランティアによる学校支援
  - 学習・生活支援ボランティア (小学校1～3年生)
  - 授業補助、読み聞かせ、登下校の見守り、環境整備 等
- コーディネーターの配置
  - ボランティアのコーディネート、連絡調整、研修会参加

【事業の成果】

- 地域と学校の協働による、児童生徒へのきめ細かな指導や安全安心な学校生活が行われるようになった。
- コーディネーターの配置により、地域が学校に主体的にかかわるようになり、スムーズにボランティア活動が行われるようになった。

平成24年度より事業開始  
 平成24年度：20校で実施 (小学校14校、中学校6校)  
 平成25年度：28校で実施 (小学校22校、中学校6校)

【今後の課題・方向性】  
 今後も、学校とボランティアをつなぐコーディネーターを配置し、多様な知識や経験を持つ多くの地域人材の発掘や、学校のニーズにあったボランティア活動の支援を行い、全61校での実施を目指す。

(参考)	
前年度決算額	3,335

評価結果	地域住民を中心としたボランティア活動は、児童生徒へのきめ細やかな対応や安心・安全な学校生活を実現し、学校への大きな支援につながっている。その活動を支えているのが、ボランティアコーディネーターであり、市内全校へのコーディネーター配置を目指して、本事業のさらなる拡充が必要である。
------	--

教043	項目名	小学校3～6年生における35人学級実施事業費
------	-----	------------------------

主要な施策	小学校35人学級実施事業費	ページ	44
-------	---------------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 学校教育課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	教育費
項	小学校費
目	教育振興費

【問合せ先】指導係 0857-20-3357

【9次総の施策体系】1102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P271（教035）

【事業の概要】  
 小学校1・2年生を対象に、義務教育への導入時における学校生活への適応の円滑化、基本的な生活習慣の習得、基礎学力の定着を図るなど様々な教育課題を解決するため、平成14年度から30人学級を実施している。平成24年度より小学校3～6年生を対象に1/2協力金方式で35人学級を実施している。

【事業の成果】  
 県への協力金の拠出により小学校3～6年生の35人学級を実施した。  
 平成24年度 17学級 17人分×200万円  
 平成25年度 19学級 19人分×200万円

【今後の課題・方向性】  
 国は学級編制基準の見直し（40人→35人）を進めており、少人数学級編制とすることは、児童の生活指導及び学力の定着に大きな効果が上がっているところであり、引き続き県への協力金の拠出により35人学級の実施を図りたい。

(単位:千円)

当初予算額	32,000
補正予算額	6,000
予算流・充用額	0

最終予算額	38,000
本年度決算額	38,000

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	38,000
計	38,000	

(参考)

前年度決算額	34,000
--------	--------

評価結果 国は学級編制基準の見直し（40人→35人）を進めており、県においても3年生～6年生に35人学級を独自に実施している。少人数学級編制とすることは、児童の生活指導及び学力の定着に大きな効果が上がっているところであり、引き続き35人学級を実施していきたい。

教044	項目名	中学校2・3年生における35人学級実施事業費
------	-----	------------------------

主要な施策	中学校35人学級実施事業費	ページ	45
-------	---------------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 学校教育課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	教育費
項	中学校費
目	教育振興費

【問合せ先】指導係 0857-20-3357

【9次総の施策体系】1102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P273（教036）

【事業の概要】  
 中学校1年生に対するきめ細かな指導環境を整備する必要から、平成15年から33人学級を実施している。（平成15年度は、南中1校のみでモデル実施。）  
 平成24年度より中学校2、3年生を対象に1/2協力金方式で35人学級を実施している。

【事業の成果】  
 県への協力金の拠出により中学校2・3年における35人学級を実施した。  
 平成24年度 16学級 16人分×200万円  
 平成25年度 16学級 16人分×200万円

【今後の課題・方向性】  
 国は学級編制基準の見直し（40人→35人）を進めており、少人数学級編制とすることは、生徒の生活指導及び学力の定着に大きな効果が上がっているところであり、引き続き県への協力金の拠出により35人学級の実施を図りたい。

(単位:千円)

当初予算額	32,000
補正予算額	0
予算流・充用額	0

最終予算額	32,000
-------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	32,000
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	32,000
計	32,000

(参考)

前年度決算額	32,000
--------	--------

評価結果 国は学級編制基準の見直し（40人→35人）を進めており、県においても中学校2・3年に35人学級を独自に実施している。少人数学級編制とすることは、児童の生活指導及び学力の定着に大きな効果が上がっているところであり、引き続き35人学級の実施していきたい。

教045	項目名	放課後子ども教室推進事業費
------	-----	---------------

主要な施策	放課後子ども教室推進事業費	ページ	46
-------	---------------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 学校教育課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	教育費
項	社会教育費
目	社会教育活動費

【問合せ先】地域・家庭教育係 0857-20-3376

【9次総の施策体系】1102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P277（教037）

(単位:千円)

当初予算額	8,576
補正予算額	△ 2,100
予算流・充用額	0

【事業の概要】  
 放課後や週末等における地域の子どもの安全・安心な活動拠点（居場所）を確保する。地域の様々な資質を有する多くの大人の参画を得て、子どもたちに、様々な体験・交流・学習活動の機会を提供する。事業の円滑な実施や、より充実した魅力のある事業にするため、放課後子ども教室運営委員会を開催する。

最終予算額	6,476
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

【事業の成果】  
 平成23年度 神戸、明治、東郷小で開催 9,407,787円  
 平成24年度 神戸、明治、東郷小で開催 6,815,190円  
 平成25年度 神戸、明治、東郷小で開催 6,089,764円

本年度決算額	6,090
--------	-------

【今後の課題・方向性】  
 放課後児童対策事業としては、同種の放課後児童クラブより財政的に有利な事業であるが、国の事業仕分けに挙げたこともあり、今後大幅に拡充していくことは難しいと考える。ただし、事業実施地域の評価・ニーズとも高く、今後とも放課後児童クラブの開設が難しい小学校区において実施していく方針である。

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	3,907
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	2,183
計	6,090	

(参考)

前年度決算額	6,815
--------	-------

評価結果 全小学校区で放課後や長期休暇時において、安心・安全な居場所を確保することが望ましいと考えており、「放課後児童クラブ」を開設できない校区においては「子ども教室」を実施している。いまだ3校区/44校区中においては開設できていないが、必要性や地域性を考慮しながら開設を考えていきたい。

教046	項目名	学校人権教育推進費
------	-----	-----------

主要な施策	人権教育推進費	ページ	46
-------	---------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 学校教育課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	教育費
項	社会教育費
目	人権教育費

(単位:千円)	
当初予算額	1,418

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	1,418
-------	-------

本年度決算額	1,183
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	1,183
計	1,183

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

<p><b>事業の概要</b></p> <p>【問合せ先】指導係 0857-20-3357</p> <p>【9次総の施策体系】2201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P279 (教038)</p> <p>【事業の概要】</p> <p>① 外部講師を派遣し、学習指導の工夫・改善を支援することにより、教員の授業力および資質向上を図る。</p> <p>② 「PTA人権教育学習資料 たいよう」を作成し、小学校1年生保護者を対象に配布するほか人権図書を購入し、学校人権教育に対する理解を深める。</p> <p>【事業の成果】 教職員研修では、教員の授業力向上や指導法の改善に大きな成果を上げた。また、人権教育学習資料は、広く保護者研修会にも活用されており、保護者啓発資料として広く活用された。</p> <p>① 平成23年度 研修会8回開催 平成24年度 研修会7回開催 平成25年度 研修会6回開催</p> <p>② 人権図書購入費 平成23年度 10,000円×63校 (のぞみ分校含む) 平成24年度 10,000円×63校 (のぞみ分校含む) 平成25年度 10,000円×62校 (のぞみ分校含む)</p> <p>【今後の課題・方向性】 本事業は、平成25年度を持って終了する。</p>
--

(参考)	
前年度決算額	1,266

評価結果	市の事業としては継続しないが、各校、各中学校区の実態に合わせ、他の事業と統合させながら人権教育の取り組みを充実させていく。今後も教職員の資質向上を図っていく必要があるため、人権教育に係る研修会は継続して行っていく。
------	---

教047	項目名	いじめ防止教育推進事業費
------	-----	--------------

主要な施策	人権教育推進費	ページ	46
-------	---------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 学校教育課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要
-------

会計名	一般会計
款	教育費
項	社会教育費
目	人権教育費

【問合せ先】生徒指導係 0857-20-3366

【9次総の施策体系】1102

【予算計上の経過】  
予算事業別概要目次  
当初予算・P279（教040）

【事業の概要】  
学校現場で起こるいじめ問題について、すべての学校教育関係者が適切に対応できるため、いじめ防止教育の効果的な取り組みについて検討し、資料や研修を提供することによって学校現場を支援する。

【事業の成果】  
平成23年度 いじめ防止教育研修会1回開催 42千円  
平成24年度 いじめ防止教育研修会1回開催、啓発リーフレット配布 112千円  
平成25年度 いじめ防止教育研修会1回開催、啓発リーフレット配布 182千円

【今後の課題・方向性】  
「いじめ防止対策推進法」の制定を受け、いじめ防止と早期対応のための継続的な事業の展開が必要であり、本事業の継続・拡充が必要であると考えている。

（単位：千円）	
当初予算額	393

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	393
-------	-----

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	182
--------	-----

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	182
	計	182

(参考)	
前年度決算額	112

評価結果	全国的に問題となっているいじめの問題に関しては、「いじめを生み出さない学級、学校づくり」の取り組みを継続して実施することが重要であり、拡充を希望する。
------	---

教048	項目名	史跡鳥取藩主池田家墓所管理補助金
------	-----	------------------

主要な施策	指定文化財等管理費	ページ	46
-------	-----------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 文化財課
-----	------------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	教育費
項	社会教育費
目	文化財保護費

(単位:千円)	
当初予算額	15,370

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	15,370
-------	--------

本年度決算額	14,247
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	14,247
計	14,247

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

<p><b>事業の概要</b></p> <p>【問合せ先】鳥取城整備推進係 0857-20-3359</p> <p>【9次総の施策体系】1202</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P277 (教041)</p> <p>【事業の概要】 鳥取藩主池田家墓所は、(公財)史跡鳥取藩主池田家墓所保存会が事業主体となり、日常的な管理事業及び保存修理事業を実施し、いずれも「公益財団法人史跡鳥取藩主池田家墓所保存会運営補助金等交付要綱」に基づいて鳥取市は補助負担している。このうち、保存修理事業は、平成15年度に策定した保存整備計画に基づき、劣化の進行した個所に関する保存修理を実施中である。事業期間は、平成16年度から平成32年度までの予定。</p> <p>【事業の成果】 事業主体である(公財)史跡鳥取藩主池田家墓所保存会に対する補助金の交付 ○保存修理費補助金(藩主墓の保存整備工事等の実施) 平成23年度 2,030千円 平成24年度 6,232千円 平成25年度 10,150千円 ○管理費補助金(墓所の監視清掃、灯籠会の開催等の実施) 平成23年度 3,671千円 平成24年度 3,580千円 平成25年度 4,097千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 復元や保存修理・環境整備は平成32年度まで予定されており、今後も着実に事業を進める必要がある。</p>
--

(参考)	
前年度決算額	9,812

評価結果	破損個所の修復も進み、各種行事に多数の鳥取市民が来場し地域資源としての価値が確実に高まっており、今後も現状を維持した補助事業を実施する。
------	--



教049	項目名	鳥取県指定保護文化財聖神社保存修理事業補助金
------	-----	------------------------

主要な施策	指定文化財等管理費	ページ	46
-------	-----------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 文化財課
-----	------------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	教育費
項	社会教育費
目	文化財保護費

【問合せ先】鳥取城整備推進係 0857-20-3359

【9次総の施策体系】1202

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P277（教042）

(単位:千円)

当初予算額	7,897
補正予算額	933
予算流・充用額	0

【事業の概要】  
 県指定保護文化財・聖神社の社殿などは、経年劣化が進み、根本的な修復が必要な状況である。経年劣化等により保存修復の必要な鳥取県指定保護文化財聖神社の保存修理について、事業費を補助する。23年度より事業を開始し、継続的に取り組んでいる。  
 県指定文化財であるため、対象事業費の1/2を鳥取県、1/4を鳥取市が補助する。修理事業の期間は24～26年度の3か年。

最終予算額	8,830
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	8,786
--------	-------

【事業の成果】  
 平成25年度は本殿の修理工事を実施した。  
 23年度 補助金 1,210千円（保存修理に係る調査業務）  
 24年度 補助金 10,571千円（拝殿、幣殿修理工事）  
 25年度 補助金 8,786千円（本殿修理工事）  
 また工事中に現地説明会を実施し、市民の文化財保護意識の醸成を図ることができた。

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	8,786
計	8,786	

【今後の課題・方向性】  
 26年度工事完了予定であり、着実に事業が進捗するよう指導助言していく。

(参考)

前年度決算額	10,571
--------	--------

評価結果	平成26年度の完成を目指して着実に支援していく。
------	--------------------------

教050	項目名	指定文化財補助金
------	-----	----------

主要な施策	指定文化財等管理費	ページ	46
-------	-----------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 文化財課
-----	------------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	教育費
項	社会教育費
目	文化財保護費

(単位:千円)	
当初予算額	5,254

補正予算額	2,507
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	7,761
-------	-------

本年度決算額	7,451
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	1,009
地方債	0
その他	0
一般財源	6,442
計	7,451

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

【問合せ先】保存整備係 0857-20-3367  
【9次総の施策体系】1202

【予算計上の経過】  
予算事業別概要目次  
8月補正予算・P38(教007)

【事業の概要】  
指定文化財(国・県・市・登録文化財)を後世に残していくための事業費(A)や、伝統行事・民俗芸能など、後継者育成に力を入れるための事業費(B)に対して補助した。「文化財の保存及び保護に関する補助金等交付要綱」により補助するもの。

【事業の成果】  
指定文化財(A有形文化財・B無形民俗文化財)の保護について指導並びに補助を行い後世に残し受け継いでいくための適正な保存管理・後継者育成等につながった。

23年度 4,122千円  
24年度 5,680千円  
25年度 7,451千円

25年度内訳 指定文化財(A有形文化財・B無形民俗文化財)の管理及び公開・育成事業への補助

A(気高地域)…5件 (佐治地域)…1件 (用瀬地域)…2件  
(河原地域)…2件 (鳥取地域)…11件 (国府地域)…5件  
(鹿野地域)…1件  
B(気高地域)…4件 (青谷地域)…1件 (国府地域)…1件

【今後の課題・方向性】  
高齢化・少子化に伴い、後継者の育成等が必須である。登録有形文化財については、登録後の活用の取り組みが課題となっている。地域と連携した事業実施のため、継続的な補助が必要である。

(参考)	
前年度決算額	5,680

評価結果	地域・団体からの修理要望や相談も増加し、文化財を適正に管理・保存する方策を検討しなければならない。
------	---

教051	項目名	鳥取城跡保存修理事業費
------	-----	-------------

主要な施策	鳥取城跡保存修理事業費	ページ	46	所属名
-------	-------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	教育費
項	社会教育費
目	文化財保護費

(単位:千円)	
当初予算額	74,186

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	154
---------	-----

最終予算額	74,340
-------	--------

本年度決算額	71,923
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	47,571
地方債	0
その他	0
一般財源	24,352
計	71,923

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】鳥取城整備推進係 0587-20-3359

【9次総の施策体系】1202

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P278（教043）

【事業の概要】  
 鳥取城跡附太閤ヶ平は、昭和32年に国指定文化財になって以後、年次計画で昭和18年の鳥取大震災等で損傷した石垣の保存修理を実施してきた。現在は、「史跡鳥取城跡保存整備実施計画」（平成18年度策定）に基づき、平成30年度を目標に大手登城路復元整備事業に取り組んでおり、復元の資料を得るための発掘調査を、20年度より補助事業として実施している。

【事業の成果】  
 計画的に文化財としての整備を実施することにより、学術面における鳥取城の本質的価値が明らかになりつつあり、さらに地域の核としても、鳥取城跡の価値を高めることができた。

- 大手登城路復元にかかる発掘調査、記録作成
- 石垣修復工事、発掘調査、記録作成
- 次年度以降工事に係る発掘調査、記録作成、設計

23年度 93,503千円  
 24年度 52,077千円  
 25年度 71,923千円

【今後の課題・方向性】  
 市民からも要望の強い鳥取城跡の復元整備・環境整備を推進し、文化財としての保存・活用を図る。

(参考)	
前年度決算額	52,077

評価結果	関係機関との調整を進め、保存整備基本計画に沿った事業を着実に進める。平成30年度を目標に大手登城路の復元整備を進める。
------	---

所属名	教育委員会事務局 文化財課
-----	------------------

教052	項目名	史跡鳥取城跡保存整備事業費
------	-----	---------------

主要な施策	鳥取城跡保存修理事業費	ページ	46
-------	-------------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 文化財課
-----	------------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	教育費
項	社会教育費
目	文化財保護費

【問合せ先】鳥取城整備推進係 0857-20-3359  
 【9次総の施策体系】1202  
 【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P278（教044）

(単位:千円)

当初予算額	24,567
-------	--------

【事業の概要】  
 平成17年度に「史跡鳥取城跡附太閤ヶ平保存整備基本計画」、18年度に「鳥取城跡保存整備実施計画」を策定し、長期計画に基づく史跡鳥取城跡の保存整備の促進と史跡の活用を図っている。  
 鳥取城跡の史跡としての保存と活用を推進し、地域の核となる文化財としての価値を高める。これにより、地域文化の振興や周辺地域の活性化、文化財愛護意識の醸成を図ることを目的とする。

補正予算額	0
-------	---

【事業の成果】  
 23年度 1,918千円  
 24年度 1,868千円  
 25年度 24,054千円  
 ○検討委員会の開催  
 ○鳥取城フォーラムの開催  
 ○発掘調査の現地説明会の開催  
 ○石垣修復工事の現地説明会の開催  
 ○史跡の現地説明会の開催  
 ○鳥取32万石お城祭りでの展示の開催（以上 23～25年度）  
 ○中ノ御門跡等復元整備基本設計の業務委託（25年度）

予算流・充用額	△ 290
---------	-------

最終予算額	24,277
-------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	24,054
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	7,505
地方債	0
その他	0
一般財源	16,549
計	24,054

【今後の課題・方向性】  
 鳥取城跡の修理・整備工事の進捗に合わせ、内容・手法等を見直しつつ継続的に取り組んでいく。平成30年度を目途に、保存整備基本計画の見直しを行い、事業を精査する。

(参考)

前年度決算額	1,868
--------	-------

評価結果	復元整備事業の進捗にあわせ、内容・手法等を見直しつつ継続的に取り組んでいく。
------	--

教053	項目名	仁風閣・宝扇庵管理費
------	-----	------------

主要な施策	仁風閣・宝扇庵管理費	ページ	46	所属名
-------	------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	教育費
項	社会教育費
目	文化財保護費

(単位:千円)	
当初予算額	48,726

補正予算額	54
-------	----

予算流・充用額	1
---------	---

最終予算額	48,781
-------	--------

本年度決算額	24,555
--------	--------

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	580
	地方債	0
	その他	146
	一般財源	23,829
計		24,555

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	146
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】保存整備係 0857-20-3367  
 【9次総の施策体系】1202

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P279 (教045)

【事業の概要】  
 重要文化財仁風閣、宝扇庵及び宝隆院庭園の適正かつ円滑な管理運営を図るとともに、仁風閣を通じて文化財愛護思想の啓発を図るため、財団法人鳥取市文化財団を指定管理者に指定している。(指定期間23年度～27年度)

【事業の成果】  
 適正かつ円滑な管理運営を実施できた。  
 (主な事業)  
 山本玄匠展示会  
 企画展「池田正晰 因伯昔話挿話展」  
 企画展「甦る鳥取城」  
 仁風閣サロンコンサート  
 「写真家 池本喜巳氏 写真教室」  
 (入館者数)  
 23年度 34,143人      24年度 34,755人      25年度 29,239人  
 また、消防設備の改修工事設計を行った(工事は26年度に繰越)  
 (翌年度繰越額 23,954千円)

【今後の課題・方向性】  
 本事業を継続して実施し、重要文化財の保護及び活用に努める。  
 なお、外壁塗装の剥離及び屋根周りの劣化が進行しており、近いうちに大規模な修理を要する状況であるため、鳥取城跡と合わせて総合的な再整備の検討を行うものとする。

(参考)	
前年度決算額	27,147

評価結果	指定管理者のノウハウを活用した管理を継続し、重要文化財等の適正な管理と活用に努める。また、各種展示・体験活動等を実施し、利用者のサービス向上に努める。
------	---

教育委員会事務局  
 文化財課

教054	項目名	円通寺人形芝居伝承施設管理費
------	-----	----------------

主要な施策	円通寺人形芝居伝承施設管理費	ページ	46	所属名
-------	----------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	教育費
項	社会教育費
目	文化財保護費

(単位:千円)

当初予算額	561
-------	-----

補正予算額	1,250
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	1,811
-------	-------

本年度決算額	1,803
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	1,803
計	1,803

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】保存整備係 0857-20-3367

【9次総の施策体系】1202

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 8月補正予算・P38(教008)

【事業の概要】  
 県指定無形民俗文化財である円通寺人形芝居を保存伝承していくための施設の管理を行う。

【事業の成果】  
 円通寺人形芝居の保存・伝承を図り、文化財愛護思想の普及と地域の振興を図ることができた。また、施設を適正に維持管理し、利用者の利便性を高めることができた。  
 23年度 483千円  
 24年度 539千円  
 25年度 1,803千円  
 25年7月31日の集中豪雨により陸屋根に漏水が発生したため、修繕を行った。

【今後の課題・方向性】  
 円通寺人形芝居保存会のメンバーが高齢化しており、後継者の育成に力を入れる必要がある。今後も、啓発活動や体験活動を通して円通寺人形芝居の保存・活用を図っていく。

(参考)

前年度決算額	539
--------	-----

評価結果	県内外の人形芝居(人形浄瑠璃)団体との交流を行うことで情報交換を行い、保存・伝承のための方策を検討していく。
------	--

所属名	教育委員会事務局 文化財課
-----	------------------

教055	項目名	文化財調査費
------	-----	--------

主要な施策	文化財調査費	ページ	46
-------	--------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 文化財課
-----	------------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	教育費
項	社会教育費
目	文化財保護費

(単位:千円)	
当初予算額	18,127

補正予算額	1,547
-------	-------

予算流・充用額	81
---------	----

最終予算額	19,755
-------	--------

本年度決算額	19,569
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	8,684
地方債	0
その他	0
一般財源	10,885
計	19,569

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

<p><b>事業の概要</b></p> <p>【問合せ先】保存整備係 0857-20-3367</p> <p>【9次総の施策体系】1202</p> <p>【予算計上の経過】          予算事業別概要目次          当初予算・P279(教046)、12月補正予算・P53(教013)</p> <p>【事業の概要】          埋蔵文化財が確認されている場所で計画されている各種開発事業と調整を図り、文化財保護に努める。</p> <p>【事業の成果】          各種開発事業との調整を図るために、試掘調査を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>件数</th> <th>調査面積</th> <th>決算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23年度</td> <td>20件</td> <td>1568.27m<sup>2</sup></td> <td>24,881千円</td> </tr> <tr> <td>24年度</td> <td>18件</td> <td>1367.05m<sup>2</sup></td> <td>30,359千円</td> </tr> <tr> <td>25年度</td> <td>24件</td> <td>1016.79m<sup>2</sup></td> <td>19,569千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(25年度の主要調査箇所)          岩吉遺跡 169.13m<sup>2</sup> 宅地造成          青谷横木遺跡 204.5m<sup>2</sup> 鳥取西道路          鳥取城関連遺跡 54.0m<sup>2</sup> 県立鳥取西高等学校改築          大井所在遺跡 20.0m<sup>2</sup> 携帯電話基地局新設 ほか</p> <p>【今後の課題・方向性】          近年、高速道路などの大型公共事業が計画されているので、計画的に試掘調査を実施する必要がある。</p>		件数	調査面積	決算額	23年度	20件	1568.27m <sup>2</sup>	24,881千円	24年度	18件	1367.05m <sup>2</sup>	30,359千円	25年度	24件	1016.79m <sup>2</sup>	19,569千円
	件数	調査面積	決算額													
23年度	20件	1568.27m <sup>2</sup>	24,881千円													
24年度	18件	1367.05m <sup>2</sup>	30,359千円													
25年度	24件	1016.79m <sup>2</sup>	19,569千円													

(参考)	
前年度決算額	30,359

評価結果	周知の埋蔵文化財包蔵地で行われる開発事業については、今後も試掘調査等を実施しながら調整を図る必要がある。
------	--

教056	項目名	上寺地遺跡管理事業費
------	-----	------------

主要な施策	青谷上寺地遺跡管理費	ページ	46
-------	------------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 文化財課
-----	------------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	教育費
項	社会教育費
目	文化財保護費

【問合せ先】保存整備係 0857-20-3367  
 【9次総の施策体系】1202  
 【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P280（教047）  
 【事業の概要】  
 青谷上寺地遺跡は「地下の弥生の博物館」と称される、弥生時代の多種多様な遺物が大量に出土した弥生時代の貴重な遺跡であり、平成20年3月に国史跡に指定された。また、平成22年8月、23年9月、25年10月に追加指定を受けた。  
 遺跡範囲内の公有化により青谷上寺地遺跡公園とし、遺跡保護と景観の管理を行う。また、史跡の保存活用事業の推進のため、鳥取県・鳥取市・関係団体等で組織する「青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会」により、地域及び青谷上寺地遺跡展示館等と連携して遺跡を活用した取り組みを行う。

【事業の成果】  
 青谷上寺地遺跡公園及び道路、水路周辺などの除草作業を実施し、周辺の水田・住宅等に影響を及ぼさないよう、遺跡の保護と景観の保全管理を行った。  
 （除草業務委託）  
 23年度 1,294千円  
 24年度 1,210千円  
 25年度 1,210千円  
 また、青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会で、古代米栽培体験・田んぼアート・キャラクター募集等の発信事業を行った。  
 （青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会負担金）  
 25年度 2,000千円

【今後の課題・方向性】  
 当面は現状の環境整備・維持管理に努め、史跡の整備・保存・活用の実施設計に向けて検討する。

(単位:千円)

当初予算額	3,634
補正予算額	0
予算流・充用額	0

最終予算額	3,634
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	3,210
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	3,210
計	3,210

(参考)

前年度決算額	1,210
--------	-------

評価結果  
 将来的には史跡青谷上寺地遺跡の史跡公園化を目指し、鳥取県と共同して史跡地内の環境保持と公有化を進めるとともに、青谷上寺地遺跡の知名度アップを目指し、青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会で古代米栽培や田んぼアート等を実施している。これらの活動は、年々充実してきている。



教057	項目名	美歎水源地保存整備事業費
------	-----	--------------

主要な施策	美歎水源地保存整備事業費	ページ	46
-------	--------------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 文化財課
-----	------------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	教育費
項	社会教育費
目	文化財保護費

【問合せ先】鳥取城整備推進係 0857-20-3359  
 【9次総の施策体系】1202  
 【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P280（教048）  
 【事業の概要】  
 旧美歎水源地水道施設は、鳥取市の水がめとして大正から昭和にかけて60年にわたって使用された水道施設で、かつての上水道施設のありようを伝える貴重な近代化遺産として、平成19年6月に国の重要文化財に指定された。これを受け「旧美歎水源地水道施設保存整備基本計画」を策定。この計画に基づき、平成20年度から長期的視点に立った保存整備を行っている。  
 この事業の実施により、旧美歎水源地水道施設を市民の誇りとなる遺産として、将来にわたって伝えていく。  
 【事業の成果】  
 23年度 11,940千円  
 ○建造物の調査工事を実施し、破損状況を把握。  
 ○10月の全国近代化遺産一斉公開に合わせて特別公開を実施。  
 ○保存整備検討委員会を開催し、整備方針・事業の進捗等を検討。  
 24年度 20,435千円  
 ○引き続き調査工事を実施し、修理方針を決定。  
 ○特別公開・検討委員会の開催。  
 25年度 12,864千円  
 ○調査成果に基づき、建造物の保存修理工事に着手（25年度～29年度）  
 ○特別公開・検討委員会の開催  
 【今後の課題・方向性】  
 平成29年度完了を目的に、建造物の保存修理を計画的に進めるとともに、平成25年度に策定し文化庁の認可を得た「保存活用計画」に沿った公開活用のための施設整備を進める。

(単位:千円)

当初予算額	13,331
-------	--------

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	△ 236
---------	-------

最終予算額	13,095
-------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	12,864
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	7,473
地方債	0
その他	0
一般財源	5,391
計	12,864

(参考)

前年度決算額	20,435
--------	--------

評価結果	保存整備基本計画（平成21年度策定）に基づき、着実に事業を推進する。平成22年度から平成24年度に調査工事、平成25年度以降に修理工事を実施し、平成30年度の公開を目指す。また、平成26年度以降は、保存活用計画（平成25年度策定）に基づいた整備も併せて行っていく。
------	--

教058	項目名	美歎水源地保存活用計画策定事業費
------	-----	------------------

主要な施策	美歎水源地保存整備事業費	ページ	46
-------	--------------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 文化財課
-----	------------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	教育費
項	社会教育費
目	文化財保護費

【問合せ先】鳥取城整備推進係 0857-20-3359

【9次総の施策体系】1202

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P281（教049）

【事業の概要】  
 重要文化財建造物等公開活用事業（国庫補助事業）により、旧美歎水源地水道施設の今後の利活用における整備に向け、保存活用計画を策定する（平成25年度で終了）。

【事業の成果】  
 「保存整備基本計画」（平成21年度策定）の実施計画にあたる「保存活用計画」を策定し、文化庁の認可を受けることができた。  
 それにより、旧美歎水源地水道施設の便益施設・見学施設の整備を国庫補助事業として実施することが可能になった。  
 23年度 0千円  
 24年度 0千円  
 25年度 4,958千円

【今後の課題・方向性】  
 平成29年度の整備完了を目標とし、平成26年度から施設の整備工事に着手する。  
 「美歎水源地保存整備事業」として、既に着手している建造物修理事業と合わせて実施する。

(単位:千円)

当初予算額	5,316
-------	-------

補正予算額	△ 327
-------	-------

予算流・充用額	1
---------	---

最終予算額	4,990
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	4,958
--------	-------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	2,477
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	2,481
計	4,958	

(参考)

前年度決算額	0
--------	---

評価結果	保存活用計画に基づき、保存整備を実施する。
------	-----------------------

教059	項目名	青谷上寺地遺跡展示館・あおや郷土館運営管理費等
------	-----	-------------------------

主要な施策	青谷上寺地遺跡展示館・あおや郷土館管理費	ページ	46
-------	----------------------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 文化財課
-----	------------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	教育費
項	社会教育費
目	文化財保護費

(単位:千円)	
当初予算額	33,988

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	33,988
-------	--------

本年度決算額	33,988
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	4,377
地方債	0
その他	24
一般財源	29,587
計	33,988

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	24
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

<p><b>事業の概要</b></p> <p>【問合せ先】保存整備係 0857-20-3367</p> <p>【9次総の施策体系】1202</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P281(教050)</p> <p>【事業の成果】 青谷上寺地遺跡の貴重な出土遺物等を展示する鳥取市青谷上寺地遺跡展示館と、郷土の歴史・民俗・美術などに関する資料等を収蔵展示する鳥取市あおや郷土館は、公益財団法人鳥取市文化財団が指定管理者であり(指定期間23年度~27年度)、常設展示、企画展示及び体験学習等を通じて、文化財の愛護思想の啓発育成を図っている。</p> <p>【事業の成果】 施設の円滑な管理運営に努め、貴重な文化財の保護意識の高揚及び市民文化の向上を図った。</p> <table border="1"> <tr> <td>入館者数</td> <td>鳥取市青谷上寺地遺跡展示館</td> <td>鳥取市あおや郷土館</td> </tr> <tr> <td>23年度</td> <td>7,886人</td> <td>6,825人</td> </tr> <tr> <td>24年度</td> <td>7,698人</td> <td>9,631人</td> </tr> <tr> <td>25年度</td> <td>8,427人</td> <td>6,899人</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 鳥取市西エリアへの山陰海岸ジオパークの拡大に伴い、鳥取市あおや郷土館がその拠点施設としてジオパーク関連情報や青谷地域情報等を発信できるよう、鳥取砂丘・ジオパーク推進課と連携していくとともに、指定管理者による管理運営を継続し、より魅力ある企画展示や体験学習等の機会を提供して入館者数の増加に努める。また、市西エリアのみの展示ではなく、市全域を対象とするような展示施設とすることも検討していく。</p>	入館者数	鳥取市青谷上寺地遺跡展示館	鳥取市あおや郷土館	23年度	7,886人	6,825人	24年度	7,698人	9,631人	25年度	8,427人	6,899人
入館者数	鳥取市青谷上寺地遺跡展示館	鳥取市あおや郷土館										
23年度	7,886人	6,825人										
24年度	7,698人	9,631人										
25年度	8,427人	6,899人										

(参考)	
前年度決算額	36,909

評価結果	指定管理者のノウハウを活用した管理を継続して入館者数の増加を図り、各種展示・イベント等を通じて、史跡等の保護意識醸成や市民文化の向上等に努める。また、山陰海岸ジオパークが本市西側までエリア拡大されたことに伴い、あおや郷土館を西側エリアの拠点施設として再整備するとともに、ジオパークの案内ができる体制の構築が必要である。
------	---

教060	項目名	歴史博物館管理費
------	-----	----------

主要な施策	歴史博物館管理費	ページ	46
-------	----------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 文化財課
-----	------------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	教育費
項	社会教育費
目	文化財保護費

(単位:千円)	
当初予算額	153,557

補正予算額	158
-------	-----

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	153,715
-------	---------

本年度決算額	153,220
--------	---------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	59
一般財源	153,161
計	153,220

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	59
その他	0

<p><b>事業の概要</b></p> <p>【問合せ先】保存整備係 0857-20-3367</p> <p>【9次総の施策体系】1202</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P282(教051)</p> <p>【事業の概要】 鳥取市歴史博物館の適正かつ円滑な管理運営を図るとともに、常設展示・特別展示等を通じて文化財の愛護思想の啓発育成を図るため、公益財団法人鳥取市文化財団を指定管理者に指定している。</p> <p>【事業の成果】 (主な事業) 「吉田璋也のデザイン ヘルシンキ・パリ凱旋展」 「錦絵 時代を映したアートとメディア～色彩(いろど)るノ喧伝(つたえ)る～」 「郷愁と情熱の画人 中島菜刀」 ・25年度は鳥取市歴史博物館の開館以来、最高となる入館者数を記録した。 (入館者数) 23年度 38,042人 24年度 22,614人 25年度 44,045人</p> <p>【今後の課題・方向性】 本事業を継続して実施し、鳥取市の歴史の調査研究及び市民への郷土愛護精神の高揚に努める。新市域の文化財関連情報を展示に反映できるよう、今後、展示内容の一部変更を検討する必要がある。</p>
--

(参考)	
前年度決算額	160,187

評価結果	指定管理者のノウハウを活用した管理を継続し、文化財保護意識の高揚、市民の文化向上及び福祉の増進に努める。また常設展示の内容等について検討協議し、展示内容の整備を図るとともに入館者の増加に努める。
------	---

教061	項目名	因幡万葉歴史館管理費
------	-----	------------

主要な施策	因幡万葉歴史館管理費	ページ	46	所属名
-------	------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	教育費
項	社会教育費
目	文化財保護費

(単位:千円)	
当初予算額	53,510

補正予算額	△ 1,834
-------	---------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	51,676
-------	--------

本年度決算額	51,440
--------	--------

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	273
	地方債	0
	その他	21
	一般財源	51,146
計		51,440

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	21
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】保存整備係 0857-20-3367

【9次総の施策体系】1202

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P282 (教052)

【事業の概要】  
 鳥取市因幡万葉歴史館の適正かつ円滑な管理運営を図るとともに、展示等を通じて文化財の愛護思想の啓発を図るため、公益財団法人鳥取市文化財団を指定管理者に指定している。また併せて、隣接する国府史跡ネットワーク案内広場の維持管理を委託している。

【事業の成果】  
 清末忠人剥製コレクション展「ザ・鳥」  
 野田ふさえ生誕100年記念「初秋の風」  
 「漫画家 安彦良和～古代因幡へのまなざし～」  
 ・国府史跡ネットワーク案内広場の維持管理  
 ・因幡万葉企画事業  
 ・空調設備改修  
 (入館者数)  
 23年度 21,156人  
 24年度 28,668人  
 25年度 22,019人

【今後の課題・方向性】  
 平成6年の当初開館から20年が経過しているため、空調設備や展示サイン等が老朽化しており、計画的な改修等が必要である。  
 また、今後の施設のあり方等についても検討が必要である。

(参考)	
前年度決算額	53,810

評価結果	指定管理者のノウハウを活用した管理を継続し、市民の文化意識の高揚、福祉の増進に努める。また、常設展示等のあり方を検討協議し、内容の整備及び入館者の増加に努める必要がある。
------	---

所属名	教育委員会事務局 文化財課
-----	------------------

教062	項目名	高齢者生きがい促進総合事業費
------	-----	----------------

主要な施策	高齢者生きがい促進総合事業費	ページ	45
-------	----------------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 生涯学習課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	教育費
項	社会教育費
目	社会教育総務費

(単位:千円)	
当初予算額	1,723

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	1,723
-------	-------

本年度決算額	1,571
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	590
一般財源	981
計	1,571

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	590
その他	0

<p><b>事業の概要</b></p> <p>【問合せ先】生涯学習係 0857-20-3362  【9次総の施策体系】2102  【予算計上の経過】  予算事業別概要目次  当初予算・P283 (教053)  【事業の概要】  1. 尚徳大学  昭和48年から高齢者教室として始まった事業で、事業内容の見直しや定員規模の拡大を経て、現在は高齢者の総合的な学習の機会場として開設している。学習活動は、全6回程度の合同学習及び全12回の専門コース(書道・彫刻・絵画・民芸・文芸・社会・健康・郷土の8コースに別れる)で構成し、4~12月頃までの期間を通し実施している。  2. 高齢者人材活用事業  優れた知識、技能を有する高齢者を募り、講師あるいは助言者として、各地域で開催される講演会等に派遣を行った。  【事業の成果】  1. 尚徳大学  ・講座開催回数 102回  ・延べ出席者数 平成23年 平成24年度 平成25年度  6,294人 6,186人 6,765人  2. 高齢者人材活用事業  ・登録者数:55人  ・講演会等延べ参加者数 平成23年度 平成24年度 平成25年度  80人 165人 218人  【今後の課題・方向性】  高齢者の学習ニーズは年々増加し、また多様化している。それらニーズを的確に捉えて応え、地域社会を支える高齢者の豊かな生活形成に寄与する。</p>
---

(参考)	
前年度決算額	1,558

評価結果	高齢者の学習ニーズは年々増加し、また多様化している。それらニーズを的確に捉えて応え、地域社会を支える高齢者の豊かな生活形成に寄与する。
------	---

教063	項目名	市民大学開設費
------	-----	---------

主要な施策	市民大学開設費	ページ	45
-------	---------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 生涯学習課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	教育費
項	社会教育費
目	社会教育総務費

(単位:千円)	
当初予算額	395

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	395
-------	-----

本年度決算額	261
--------	-----

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	261
計	261

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】生涯学習係 0857-20-3362

【9次総の施策体系】2102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P283 (教054)

【事業の概要】  
 市内に在住、勤務する成人を対象に国際理解、郷土の歴史などの専門的な知識、一般的な教養などの学習講座を昼、夜に分けて開設している。  
 昭和26年に開設した成人学級が基となり、定員数、講座数、会場等変遷を重ね、現在の形態となった。現在、市内に在住、勤務する方を対象に6講座全30回程度の講座を文化センターを会場に定員50名として実施している。

【事業の成果】  
 平成25年度開催講座  
 ・山陰海岸ジオパーク講座 年5回(前期)  
 ・国際理解講座 年6回(前期)  
 ・市民健康講座 年5回(前期)  
 ・郷土の歴史講座 年5回(後期)  
 ・とっとり緑化フェア学習講座 年3回(後期)  
 ・社会講座 年6回(後期)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
参加者数(延)	558人	752人	726人

【今後の課題・方向性】  
 今後はさらに学習ニーズの把握に努め、学習内容について検討していく。

(参考)	
前年度決算額	227

評価結果	時節を捉えた講座を開設しているが、今後はさらに学習ニーズの把握に努め、学習内容について検討していく。
------	--

教064	項目名	ろうあ成人学級開設費
------	-----	------------

主要な施策	ろうあ成人学級開設費	ページ	45
-------	------------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 生涯学習課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	教育費
項	社会教育費
目	社会教育総務費

(単位:千円)	
当初予算額	748

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	748
-------	-----

本年度決算額	684
--------	-----

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	684
計	684

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】生涯学習係 0857-20-3362

【9次総の施策体系】2102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P284 (教055)

【事業の概要】  
 昭和35年に6～7名のろうあ者が各職場の情報交換の場を結成し、年4回の会員宅での勉強会を開いたことが始まりである。その後、昭和38年に本学級が開設され今日に至っている。現在、鳥取市ろうあ協会に事業委託し、市内に在住するろうあ者を対象に、人権学習会や時局講演会など社会生活に必要な知識技術の習得や一般教養を学習する学級を5月から3月までの第1日曜日に月1回程度、市内公的機関の各施設を会場として実施している。

(1) 開設期間 原則、毎月第1日曜日で5月～翌年の3月までの12回  
 (2) 会場 公的機関の各施設  
 (3) 学習対象者 鳥取市に在住するろうあ者および協会員  
 (4) 事業委託先 鳥取市ろうあ協会

【事業の成果】

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
開催回数	12回	12回	12回
延べ参加者数	426人	426人	431人

【今後の課題・方向性】  
 聴覚障がい者の積極的な社会参加という観点から受講生が主体となって今後も様々な事業を企画して学習の機会の充実を図っていく。

(参考)	
前年度決算額	448

評価結果	聴覚障がい者の積極的な社会参加という観点から受講生が主体となって今後も様々な事業を企画して学習の機会の充実を図っていく。
------	--



教065	項目名	福祉文化会館利用者駐車場使用料
------	-----	-----------------

主要な施策	福祉文化会館利用者駐車場使用料	ページ	45	所属名
-------	-----------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	教育費
項	社会教育費
目	社会教育総務費

(単位:千円)	
当初予算額	846

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	846
-------	-----

本年度決算額	803
--------	-----

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	803
計		803

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】生涯学習係 0857-20-3362

【9次総の施策体系】2102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P284(教056)

【事業の概要】  
 鳥取市福祉文化会館の利用者が利用できる駐車場が狭少なため、片原駐車場を利用。利用者の滞在時間の実績より2時間30分未満を無料とし、無料化した料金を市から片原駐車場指定管理者に支払う。

【事業の成果】  
 鳥取市福祉文化会館利用者に対し駐車料金の一部を減免することにより、鳥取市の生涯学習の拠点施設である福祉文化会館の利便性を確保した。  
 市営片原駐車場サービス券(無料券)交付枚数  
 平成23年度 7,885枚  
 平成24年度 7,474枚  
 平成25年度 8,028枚

【今後の課題・方向性】  
 市民サービス向上のため今後も継続して実施する。

(参考)	
前年度決算額	747

評価結果	市民サービス向上のため今後も継続して実施する。
------	-------------------------

教育委員会事務局  
生涯学習課

教066	項目名	青年団体育成費補助金
------	-----	------------

主要な施策	青少年育成費	ページ	45
-------	--------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 生涯学習課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	教育費
項	社会教育費
目	社会教育活動費

(単位:千円)	
当初予算額	1,750

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	1,750
-------	-------

本年度決算額	1,580
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	1,580
計	1,580

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】青少年係 0857-20-3363

【9次総の施策体系】2102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P285 (教057)

【事業の概要】

- 1 青少年育成鳥取県民会議と連携をしながら運動を展開している青少年育成鳥取市民会議が行う地域活動助成事業に対し補助金を交付。
- 2 青年大会派遣補助  
 (1) 全国大会に参加する青年団員に対し、その所要経費を助成。  
 (2) 鳥取県青年大会に参加する者に対し、その参加費の一部を助成。
- 3 青年団体活動補助  
 青年団体へ運営費、イベント等開催費の一部を助成。
- 4 青少年伝統芸能等継承活動支援事業補助  
 子どもたちが地域のイベントや鳥取市しゃんしゃん祭り等に参加する事業を行う市子ども会連合会に補助金を交付。

【事業の成果】

	H25年度	H24年度	H23年度
1 青少年育成鳥取市民会議 (活動地区数)	39地区	38地区	38地区
2 青年大会派遣補助	なし	なし	なし
3 青年団体活動補助	2 団体	3 団体	3 団体
4 青少年伝統芸能等継承活動支援事業 (参加者人数)	362人	302人	

【今後の課題・方向性】 事業の効果を検証しながら継続して実施する。

(参考)	
前年度決算額	1,535

評価結果	事業の効果を検証しながら継続して実施する。
------	-----------------------

教067	項目名	成人式開催費
------	-----	--------

主要な施策	成人式開催費	ページ	46	所属名
-------	--------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	教育費
項	社会教育費
目	社会教育活動費

(単位:千円)	
当初予算額	2,000

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	2,000
-------	-------

本年度決算額	1,633
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	1,633
計	1,633

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】青少年係 0857-20-3363

【9次総の施策体系】2102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P285(教058)

【事業の概要】  
 新成人の二十歳の門出を祝うとともに、新成人に大人としての自覚と責任を促すことを目的に実施する。

【事業の成果】

	H23	H24	H25
該当者人数	2,068人	2,150人	2,043人
参加者人数	約1,750人	約1,800人	約1,750人
開催日	H24, 1, 3	H25, 1, 3	H26, 1, 3
開催場所	いずれも、とりぎん文化会館		

【今後の課題・方向性】  
 継続して実施する。

(参考)	
前年度決算額	1,834

評価結果	新成人による実行委員会を組織し、企画・運営を行い、1,800人程度の参加者を得ている。今後も成人式実行委員会で企画運営を行い、継続して実施する。
------	--

所属名	教育委員会事務局 生涯学習課
-----	-------------------

教068	項目名	子育て講座開設費
------	-----	----------

主要な施策	家庭教育支援基盤形成事業費	ページ	46
-------	---------------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 生涯学習課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要
-------

会計名	一般会計
款	教育費
項	社会教育費
目	社会教育活動費

(単位:千円)	
当初予算額	2,686

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	2,686
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	2,122
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	1,397
地方債	0
その他	0
一般財源	725
計	2,122

【問合せ先】青少年係 0857-20-3363

【9次総の施策体系】1102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P286 (教059)

【事業の概要】  
 国の補助事業「学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業」を受けて子育て・親育ち講座を実施する。(補助率:国1/3 県1/3 市1/3)  
 市内の小学校・幼稚園等での「子育て・親育ち講座」を家庭教育支援チームが企画・調整し開設する。  
 ・新小学1年生(入学前)のための子育て講座(就学時検診等を活用した子育て親育ち講座)  
 ・幼児期の子育て親育ち講座  
 (講座内容)  
 基本的生活習慣、生活能力、豊かな情操、他人への思いやり、善悪の判断など基本的倫理観、社会的マナー、自制心や自立心など「生きる力」の基礎的な資質や能力を育成する上で必要な事項を取り上げて、保護者の家庭での教育力向上を図る。

【事業の成果】  
 23年度 幼児期講座 4回、小学校入学前講座 45回  
 24年度 幼児期講座 6回、小学校入学前講座 44回  
 25年度 幼児期講座 5回、小学校入学前講座 44回

【今後の課題・方向性】  
 今後も基礎的な資質や能力を育成するうえで必要な事項を取り上げ、保護者の家庭での教育力の向上を図る。

(参考)	
前年度決算額	2,327

評価結果	今後も基礎的な資質や能力を育成するうえで必要な事項を取り上げ、保護者の家庭での教育力の向上を図る。
------	---

教069	項目名	ものづくり道場推進事業費
------	-----	--------------

主要な施策	ものづくり道場推進事業費	ページ	46
-------	--------------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 生涯学習課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	教育費
項	社会教育費
目	社会教育活動費

【問合せ先】生涯学習係 0857-20-3362

【9次総の施策体系】2102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P286（教060）

(単位:千円)

当初予算額	401
-------	-----

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

【事業の概要】  
 子どもたちのものづくり・科学離れを打破するため、鳥取大学、鳥取県及び市町村が連携して鳥取県内3ヶ所にもものづくり道場を設置し、ものづくりの指導者を養成するとともにものづくりイベント及びものづくり教室を開催している。  
 本市においてもこども科学館に鳥取ものづくり道場が設置されものづくり教育が展開されている。本事業では手づくりまつりなどのイベント実施を支援している。

最終予算額	401
-------	-----

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

【事業の成果】 ものづくりイベントの実施状況			
	平成23年度	平成24年度	平成25年度
実施回数	3回	3回	4回
参加人数	1730人	1680人	1745人

本年度決算額	401
--------	-----

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	401
	計	401

【今後の課題・方向性】  
 鳥取市文化センター1階に設置されたファブラボと連携してデジタルからアナログまで対応できるものづくり活動が展開されることを期待する。

(参考)

前年度決算額	401
--------	-----

評価結果	鳥取市文化センター1階に設置されたファブラボと連携してデジタルからアナログまで対応できるものづくり活動が展開されることを期待する。
------	---

教070	項目名	地区公民館事業費
------	-----	----------

主要な施策	公民館活動事業費	ページ	46
-------	----------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 生涯学習課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	教育費
項	社会教育費
目	公民館費

(単位:千円)	
当初予算額	22,114

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	22,114
-------	--------

本年度決算額	21,654
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	21,654
計	21,654

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要			
【問合せ先】生涯学習係 0857-20-3362			
【9次総の施策体系】2102			
【予算計上の経過】			
予算事業別概要目次			
当初予算・P287(教061)			
【事業の概要】委託先：鳥取市公民館連合会			
地区公民館事業 62館(内分館1館)の事業費			
平成25年度より3事業から4事業に分類分けをして事業を実施している。事業費の配分は、基本的に各地区公民館の裁量により設定できる。			
【事業の成果】			
(1) 子どもと大人のふれあい事業			
	平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業開催数(延)	968件	937件	879件
参加人数(延)	45,650人	40,404人	41,046人
(2) 特色ある公民館活動事業			
	平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業開催数(延)	716件	750件	496件
参加人数(延)	28,072人	29,390人	22,606人
(3) 地域の仲間づくり事業			
			平成25年度
事業開催数(延)			689件
参加人数(延)			17,390人
(4) 人権啓発推進事業			
	平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業開催数(延)	543件	511件	194件
参加人数(延)	13,937人	13,849人	7,368人
【今後の課題・方向性】			
今後、人口減少がさらに進む社会においては、人とのつながりがより重要なものとなるため、この事業により、地域の人が集い、学び合い、交流し合う機会を充実させる。			

(参考)	
前年度決算額	21,136

評価結果	今後も、各地区公民館で積極的に生涯学習事業を計画し取り組み、地域の生涯学習の拠点、地域活性化の拠点として充実を図りたい。
------	--

教071	項目名	基幹公民館事業費
------	-----	----------

主要な施策	公民館活動事業費	ページ	46
-------	----------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 生涯学習課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要
-------

会計名	一般会計
款	教育費
項	社会教育費
目	公民館費

当初予算額	3,045
-------	-------

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	3,045
-------	-------

本年度決算額	2,782
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	2,782
計	2,782

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

【問合せ先】生涯学習係 0857-20-3362

【9次総の施策体系】2102

【予算計上の経過】  
予算事業別概要目次  
当初予算・P287（教062）

【事業の概要】  
基幹公民館主催の生涯学習事業開催費等  
【国府】高齢者講座（万葉学校）、青少年・子ども事業、星空観察会、アフターファイブ事業  
【福部】図書推進事業、レディースセミナー、耕心大学、こども交流事業  
【河原】みたき大学、女性セミナー、民俗行事、読書推進、郷土見聞、盆栽講習会、パソコン教室、子ども教室、青年学級、キックベースボール大会、卓球大会、ジュニアリーダーキャンプ  
【用瀬】みすみ大学、成人学級、ひいな学級、郷土史講座、をり紙教室、古文書を読む会、陶芸体験教室、青少年育成研修会  
【佐治】ふるさとの歴史講座、昔の手仕事講座、地域講座  
【気高】歴史講座、指導者養成講座、気高町文化祭実行委員会補助金  
【鹿野】鹿野学講座、図書イベント  
【青谷】図書室おはなし会、高齢者教室、高齢者教室推進員事業、各種講座

【事業の成果】  
生涯学習の拠点である基幹公民館において、地域性を生かした各種事業を開催し、地域に根付いた生涯学習活動を推進した。

【今後の課題・方向性】  
地域の生涯学習機会の充実のため、今後も継続して実施する。社会情勢や住民のニーズを捉えて事業内容の改善・向上に努め、地域住民の生涯学習活動の増進に取り組む。

(参考)	
前年度決算額	2,931

評価結果	地域の生涯学習機会の充実のため、今後も継続して実施する。社会情勢や住民のニーズを捉えて事業内容の改善・向上に努め、地域住民の生涯学習活動の増進に取り組む。
------	---

教072	項目名	基幹公民館施設管理費
------	-----	------------

主要な施策	基幹公民館施設管理費	ページ	46
-------	------------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 生涯学習課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要	【問合せ先】生涯学習係 0857-20-3362
-------	--------------------------

会計名	一般会計
款	教育費
項	社会教育費
目	公民館費

【9次総の施策体系】	2102
【予算計上の経過】	予算事業別概要目次 当初予算・P288（教063）6月補正予算・P33（教005）
【事業の概要】	基幹公民館（国府町、福部町、河原町、用瀬町、佐治町、気高町、青谷町）の施設維持及び管理経費。
【事業の成果】	修繕費、光熱水費など施設の維持管理経費。 （年度）（決算額） 平成23年度 61,196千円 平成24年度 40,627千円 平成25年度 35,939千円
【今後の課題・方向性】	施設利用者の安全確保と利用環境の向上を図りながら適切に維持管理を行う。

（単位：千円）	
当初予算額	36,050

補正予算額	1,783
-------	-------

予算流・充用額	△ 68
---------	------

最終予算額	37,765
-------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	845
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	591
その他	0

本年度決算額	35,939
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	1,436
一般財源	34,503
計	35,939

(参考)	
前年度決算額	40,627

評価結果	施設利用者の安全確保と利用環境の向上を図りながら適切に維持管理を行う。
------	-------------------------------------



教073	項目名	文化センター施設管理委託費
------	-----	---------------

主要な施策	施設管理費	ページ	47
-------	-------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 生涯学習課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要	
-------	--

会計名	一般会計
款	教育費
項	社会教育費
目	文化センター管理費

【問合せ先】生涯学習係 0857-20-3362

【9次総の施策体系】2102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P288（教064）

【事業の概要】  
 鳥取市文化センターは、文化ホール、こども科学館、視聴覚ライブラリー、生涯学習センターをもつ複合多機能型社会教育施設であり、本市における文化活動拠点施設である。平成18年9月に指定管理者制度を導入し、（一財）鳥取市教育福祉振興会に指定管理委託を行っている。

- ・文化ホール 客席508席 練習室
- ・こども科学館 工作室、パソコン室、陶芸室
- ・視聴覚ライブラリー 教材保管室、試写室
- ・生涯学習センター 会議室（3）、大会議室（1）他

○指定管理委託料（鳥取市文化センターの管理及び業務委託）  
 指定管理期間 平成22年4月1日から平成26年3月31日まで  
 指定管理料（債務負担行為） 407,053千円  
 指定管理者 （一財）鳥取市教育福祉振興会

【事業の成果】

年度	使用人員
平成23年度	98,642人
平成24年度	102,721人
平成25年度	99,762人

【今後の課題・方向性】  
 モニタリング制度を活用して施設の管理運営状況を把握し、指定管理者と協議しながら適切な管理運営に努めていく。

(単位:千円)

当初予算額	102,839
補正予算額	138
予算流・充用額	1

最終予算額	102,978
本年度決算額	102,977

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	12,391
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	898
その他	0

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	13,289
一般財源	89,688
計	102,977

(参考)

前年度決算額	102,122
--------	---------

評価結果	モニタリング制度を活用して施設の管理運営状況を把握し、指定管理者と協議しながら適切な管理運営に努めていく。
------	---

教074	項目名	勤労青少年ホーム施設管理費
------	-----	---------------

主要な施策	施設管理費	ページ	47
-------	-------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 生涯学習課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要	【問合せ先】青少年係 0857-20-3363 【9次総の施策体系】2102 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P289（教065） 【事業の概要】 市内に在住、勤務する勤労青少年の福祉の増進等のため、勤労青少年ホームの運営・施設管理を行った。現在は、（一財）鳥取市教育福祉振興会に指定管理委託し、運営している。 ・指定管理期間 平成22年4月1日から平成26年3月31日 ・指定管理料（債務負担行為） 75,293千円 【事業の成果】 （利用者数） 年度 ホーム 体育館 開館日数 23 15,962人 6,446人 348日 24 15,637人 5,968人 347日 25 14,428人 6,521人 347日 【今後の課題・方向性】 モニタリング制度を活用しながら引き続き指定管理者による勤労青少年ホームの適切な管理運営を行う。
-------	--

会計名	一般会計
款	教育費
項	社会教育費
目	勤労青少年ホーム管理費

（単位：千円）	
当初予算額	18,811

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	18,811
-------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	405
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	18,811
--------	--------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	405
	一般財源	18,406
計	18,811	

(参考)	
前年度決算額	18,665

評価結果	モニタリング制度を活用しながら引き続き指定管理者による勤労青少年ホームの適切な管理運営を行う。
------	---

教075	項目名	サイクリングターミナル運営管理費等
------	-----	-------------------

主要な施策	運営管理費等	ページ	47	所属名
-------	--------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	教育費
項	社会教育費
目	サイクリングターミナル管理費

(単位:千円)	
当初予算額	12,240

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	12,240
-------	--------

本年度決算額	10,926
--------	--------

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	10,361
	一般財源	565
計		10,926

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	10,281
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	79
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】生涯学習係 0857-20-3362

【9次総の施策体系】2102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P289 (教066)

【事業の概要】  
 青少年の宿泊研修施設であるサイクリングターミナル「砂丘の家」の施設運営管理（一般客の受入可）を行う。  
 ・施設概要  
 （設置目的）青少年の健全な育成と福祉の増進に寄与することを目的とする。  
 （所在地）鳥取市浜坂1157-115 （開設年月日）昭和53年4月1日  
 （設備）管理宿泊棟 鉄筋コンクリート造2階建 992㎡  
 自転車格納庫 鉄骨造平屋建 100㎡  
 1F 研修室・食堂・配膳室・大小浴室  
 2F 和室 8室・和洋室 2室・洋室 3室  
 宿泊定員 80名

【事業の成果】  
 （宿泊者数）

年度	一般利用	学校利用	団体利用	計
23年度	1,115人	643人	2,985人	4,743人
24年度	1,415人	774人	2,350人	4,539人
25年度	1,015人	670人	2,529人	4,214人

【今後の課題・方向性】  
 鳥取砂丘に隣接するという施設の特徴を活かした施設活用を検討し、利用促進を図る。

(参考)	
前年度決算額	11,633

評価結果	鳥取砂丘に隣接するという特性を活かした施設活用を検討し、利用促進を図る。
------	--------------------------------------

教育委員会事務局  
生涯学習課

教076	項目名	視聴覚ライブラリー運営管理費等
------	-----	-----------------

主要な施策	運営管理費等	ページ	47
-------	--------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 生涯学習課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	教育費
項	社会教育費
目	視聴覚ライブラリー管理費

【問合せ先】生涯学習係 0857-20-3362

【9次総の施策体系】2102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P290（教067）

【事業の概要】  
 学校教育及び社会教育における視聴覚教育の振興を図るため、昭和41年に視聴覚ライブラリーとして発足した。平成18年から指定管理者制度に移行し、機器、教材などの貸付業務、保管等は指定管理者が行っている。

【事業の成果】  
 事業の実績（利用者数）

	H23	H24	H25
貸出本数（本）	220	199	163
全視聴者数（人）	5,130	6,325	4,562

【今後の課題・方向性】  
 技術動向を見極めながら、視聴覚機器の更新、新しいメディアへの対応、社会の要請に応じた教材の購入など年次的に行っていく。

(単位:千円)

当初予算額	679
補正予算額	0
予算流・充用額	0

最終予算額	679
-------	-----

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	543
--------	-----

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	543
計	543	

(参考)

前年度決算額	571
--------	-----

評価結果	技術動向を見極めながら、視聴覚機器の更新、新しいメディアへの対応、社会の要請に応じた教材の購入など年次的に行っていく。
------	---

教077	項目名	集会所管理費
------	-----	--------

主要な施策	社会教育施設管理費	ページ	47
-------	-----------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 生涯学習課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	教育費
項	社会教育費
目	社会教育施設管理費

(単位:千円)	
当初予算額	5,634

補正予算額	362
-------	-----

予算流・充用額	△ 122
---------	-------

最終予算額	5,874
-------	-------

本年度決算額	4,936
--------	-------

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	447
	一般財源	4,489
計		4,936

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	105
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	341
その他	0

<p><b>事業の概要</b></p> <p>【問合せ先】生涯学習係 0857-20-3362</p> <p>【9次総の施策体系】2102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P290 (教068)</p> <p>【事業の概要】 公民館以外に地域における生涯学習の推進及び地域の活性化を目的として佐治町会館、各コミュニティ施設などの集会所が設置されている。</p> <p>【事業の成果】 佐治町平成会館、佐治町西佐治会館、佐治町地域活性化センター、尾際コミュニティセンター、ロッジ緑の郷、鹿野地区コミュニティ施設、勝谷地区コミュニティ施設、小鷲河地区コミュニティ施設、旧成器小学校、旧大茅小学校、旧末恒地区公民館。 修繕費、光熱水費など施設の管理経費。</p> <table border="0"> <tr> <td></td> <td>年度</td> <td>(決算額)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>平成23年度</td> <td>20,585千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>平成24年度</td> <td>4,039千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>平成25年度</td> <td>4,936千円</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 施設を適切に維持管理し、利用環境の向上を図る。</p>		年度	(決算額)		平成23年度	20,585千円		平成24年度	4,039千円		平成25年度	4,936千円
	年度	(決算額)										
	平成23年度	20,585千円										
	平成24年度	4,039千円										
	平成25年度	4,936千円										

(参考)	前年度決算額	4,039
------	--------	-------

評価結果	施設を適切に維持管理し、利用環境の向上を図る。
------	-------------------------

教078	項目名	さじアストロパーク運営管理費
------	-----	----------------

主要な施策	さじアストロパーク運営管理費	ページ	47
-------	----------------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 生涯学習課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	教育費
項	社会教育費
目	さじアストロパーク管理費

(単位:千円)	
当初予算額	29,115

補正予算額	△ 28
-------	------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	29,087
-------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	9,584
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	271
その他	0

本年度決算額	28,321
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	9,855
一般財源	18,466
計	28,321

【問合せ先】生涯学習係 0857-20-3362

【9次総の施策体系】2102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P291 (教069)

【事業の概要】  
 1. 事業の経過及び背景  
 さじアストロパークは、103cm反射望遠鏡やプラネタリウム、様々な展示物、宿泊施設等を備えた国内有数の公開天文台である。生涯学習施設として天文教育や理科教育などを担い、地元鳥取市はもちろん、美しい星空を求めて京阪神方面を中心としたの広い地域から年間およそ二万人の来館者がある。  
 来館者を増やすため施設管理及び事業の実施を行った。

【事業の成果】  
 入館者数実績 平成23年度 23,683人  
 平成24年度 26,664人  
 平成25年度 23,699人  
 プラネタリウム観覧者数  
 平成23年度 6,975人  
 平成24年度 7,438人  
 平成25年度 6,585人

【今後の課題・方向性】  
 更なる利用者の増加に向けて、事業や施設管理の改善・向上に努める。

(参考)	
前年度決算額	30,140

評価結果	更なる利用者の増加に向けて、事業や施設管理の改善・向上に努める。
------	----------------------------------

教079	項目名	給食配送委託費
------	-----	---------

主要な施策	給食配送委託費	ページ	47
-------	---------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 体育課
-----	-----------------

年度	H25
----	-----

事業の概要	
-------	--

会計名	一般会計
款	教育費
項	保健体育費
目	学校給食費

【問合せ先】学校給食係 0857-20-3372

【9次総の施策体系】1102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P291(教070)

【事業の概要】  
 学校給食センターから受配校である小・中学校までの給食の配送・回収を、継続的かつ安定的に実施する。

【事業の成果】  
 学校給食センターと学校（給食室）との間を給食用コンテナにより配送・回収する必要があるため、専用車を有する業者に委託して実施した。  
 第一・第二・湖東・国府学校給食センター  
 因伯通運(株) 【債務負担行為：H24～26】  
 なお、佐治学校給食センターの配送委託については、平成25年度から調理委託費に追加して、鳥取市学校給食会へ委託した。

【今後の課題・方向性】  
 地域特性による受配校の児童・生徒数やクラス数の増加、燃料費等の高騰などにより、配送行程、人員配置、配送経費において、業務量の増加や経費増の変動要因が生じれば、委託費を増額しなければならない可能性がある。

(単位:千円)

当初予算額	64,558
補正予算額	0

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	64,558
-------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	64,557
--------	--------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	64,557
	計	64,557

(参考)

前年度決算額	65,196
--------	--------

評価結果	学校給食の提供には配送委託は必要な事業であり、今後も質の高い業務委託に努める。
------	---

教080	項目名	給食調理委託費
------	-----	---------

主要な施策	給食調理委託費	ページ	47
-------	---------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 体育課
-----	-----------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	教育費
項	保健体育費
目	学校給食費

(単位:千円)	
当初予算額	406,449

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	406,449
-------	---------

本年度決算額	405,005
--------	---------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	405,005
計	405,005

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

【問合せ先】学校給食係 0857-20-3372  
【9次総の施策体系】1102  
【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P292(教071)  
【事業の概要】  
 学校給食センターの調理業務を、民間業者委託により、継続的かつ安定的に実施する。  
【事業の成果】  
 佐治学校給食センターの廃止に伴い、河原学校給食センターに調理委託費を一本化するとともに、佐治学校給食センター配送委託費分を調理委託費に追加した。

- ①物資調達業務  
 (公財)鳥取市学校給食会 【随意契約】
- ②湖東学校給食センター  
 シダックス大新東ヒューマンサービス(株) 【債務負担行為: H21~25】
- ③国府学校給食センター  
 シダックス大新東ヒューマンサービス(株) 【債務負担行為: H21~25】
- ④第二学校給食センター  
 (株)東洋食品 【債務負担行為: H22~26】
- ⑤気高・鹿野・青谷学校給食センター  
 (公財)鳥取市学校給食会 【債務負担行為: H22~26】  
 青谷学校給食センター炊飯委託費分を調理委託費に一本化した。
- ⑥第一学校給食センター  
 (公財)鳥取市学校給食会 【債務負担行為: H23~27】
- ⑦河原学校給食センター  
 (公財)鳥取市学校給食会 【債務負担行為: H23~27】

【今後の課題・方向性】  
 民間事業者への外部委託も5年経過して、湖東・国府学校給食センターにおいては、当初と異なる事業者へ委託しており、業務実施状況等を検証しつつ、他センター調理業務委託にも備える。

(参考)	
前年度決算額	403,404

評価結果	常に安全・安心な学校給食の提供を心がけ、民間業者の業務実施状況等を検証しつつ、継続的に実施する。
------	--



教081	項目名	小学校扶助費
------	-----	--------

主要な施策	準要保護児童・生徒給食扶助費	ページ	47
-------	----------------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 体育課
-----	-----------------

年度	H25
----	-----

事業の概要
-------

会計名	一般会計
款	教育費
項	保健体育費
目	学校給食費

【問合せ先】学校給食係 0857-20-3372

【9次総の施策体系】1102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P292(教072)、12月補正予算・P55(教017)

【事業の概要】  
 経済的な生活困窮家庭の児童の学校給食費の一部を援助することにより、家庭の負担を軽減するもの。

【事業の成果】  
 児童の学校給食費の一部を援助することにより、家庭の負担軽減に一定の成果を得た。  
 援助単価：学校給食単価の70%(182円～193円/食)  
 平成23年度認定者数：1,056人  
 平成24年度認定者数：1,108人(うち被災者5人)  
 平成25年度認定者数：1,148人(うち被災者6人)

【今後の課題・方向性】  
 母子父子家庭の増加又は地域経済の低迷等により、対象者が年々増加傾向にある。

(単位:千円)

当初予算額	36,982
-------	--------

補正予算額	4,027
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	41,009
-------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	40,940
--------	--------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	184
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	40,756
計	40,940	

(参考)

前年度決算額	39,369
--------	--------

評価結果	母子父子家庭の増加又は地域経済の低迷等により、対象者が年々増加傾向にあり、状況を把握しつつ実施する。
------	--

教082	項 目 名	中学校扶助費
------	-------	--------

主要な施策	準要保護児童・生徒給食扶助費	ページ	47
-------	----------------	-----	----

所 属 名	教育委員会事務局 体育課
-------	-----------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	教育費
項	保健体育費
目	学校給食費

(単位:千円)	
当初予算額	24,309

補正予算額	1,012
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	25,321
-------	--------

本年度決算額	24,702
--------	--------

区 分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	38
地方債	0
その他	0
一般財源	24,664
計	24,702

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要	<p>【問合せ先】学校給食係 0857-20-3372</p> <p>【9次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】            予算事業別概要目次            当初予算・P293(教073)、12月補正予算・P55(教018)</p> <p>【事業の概要】            経済的な生活困窮家庭の生徒の学校給食費の一部を援助することにより、家庭の負担を軽減するもの。</p> <p>【事業の成果】            生徒の学校給食費の一部を援助することにより、家庭の負担軽減に一定の成果を得た。            援助単価：学校給食単価の70%(210円～220円/食)            平成23年度認定者数：604人            平成24年度認定者数：623人(うち被災者1人)            平成25年度認定者数：634人(うち被災者1人)</p> <p>【今後の課題・方向性】            母子父子家庭の増加又は地域経済の低迷等により、対象者が年々増加傾向にある。</p>
-------	--

(参考)	
前年度決算額	24,531

評価結果	母子父子家庭の増加又は地域経済の低迷等により、対象者が年々増加傾向にあり、状況を把握しつつ実施する。
------	--

教083	項目名	備品整備(学校給食センター)
------	-----	----------------

主要な施策	給食センター整備費	ページ	47	所属名
-------	-----------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	教育費
項	保健体育費
目	学校給食費

(単位:千円)	
当初予算額	18,671

補正予算額	6,707
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	25,378
-------	--------

本年度決算額	24,698
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	12,100
その他	5,347
一般財源	7,251
計	24,698

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	5,347
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】学校給食係 0857-20-3372  
【9次総の施策体系】1102  
【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P293(教074)、12月補正予算・P56(教020)

【事業の概要】  
 安全・安心な学校給食、おいしい学校給食を継続的かつ安定的に供給するため、学校給食センター及び学校備品を更新する。  
 また、各学校給食センターの大型調理機器について、年次計画的更新を図る。

【事業の成果】  
 平成25年度  
 ①学校給食センター調理機器の更新 各学校給食センター  
 ②学校保存食用冷凍庫の更新 4校  
 ③学校牛乳保冷庫の更新 2校  
 ④第一・国府・青谷学校給食センター大型調理機器購入  
 (合併特例債対象)  
 ⑤気高学校給食センター大型調理機器購入  
 (合併特例債対象外・一般財源)  
 ⑥私立学校等への学校給食提供用調理機器等購入  
 (学校給食負担金)

【実績】平成23年度 3,016千円(大型備品購入なし)  
 平成24年度 10,406千円  
 平成25年度 24,698千円

【今後の課題・方向性】  
 学校給食センターの主要調理機器は、学校給食センター建築時に導入したものが多く、経過年数的に耐用年数を超過しているものも多く、年次計画的に整備を行っていく必要がある。

(参考)

前年度決算額	10,406
--------	--------

評価結果	施設設備の経年劣化や衛生管理基準の厳正化に伴い、更新が必要な施設設備が増加しつつあり、年次的な継続更新が必要不可欠である。
------	---

教育委員会事務局  
 体育課

教084	項目名	学校給食未納対策費
------	-----	-----------

主要な施策	学校給食未納対策費	ページ	48
-------	-----------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 体育課
-----	-----------------

年度	H25
----	-----

事業の概要	【問合せ先】学校給食係 0857-20-3372
-------	--------------------------

会計名	一般会計
款	教育費
項	保健体育費
目	学校給食費

当初予算額	982
-------	-----

補正予算額	2,746
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	3,728
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	889
その他	0

本年度決算額	2,509
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	889
一般財源	1,620
計	2,509

【9次総の施策体系】1102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P294（教075）

【事業の概要】  
 教育委員会及び学校による段階的な未納対策を行っても徴収できない学校給食費未納金の生じた学校給食センター運営委員会に未納補てん補助金を交付することにより、本市及び各学校における学校給食会計の円滑な運営を図る。

【事業の成果】  
 未納額縮減のため、段階的対策を実施。  
 H23 未納者への文書督促 122件 家庭訪問 144件  
 H24 未納者への文書督促 82件 家庭訪問 177件  
 H25 未納者への文書督促 71件 家庭訪問 134件

平成24年度分に学校給食費未納金の生じた学校給食センター運営委員会に対して、未納補てん補助金を交付した。前年度交付した補助金と比較して増額となった。  
 新たに2件の法的措置を行い、2件とも年度内に完納となった。  
 児童手当からの学校給食費引去額は、前年度より増加した。

【今後の課題・方向性】  
 引き続き法的措置を視野に入れつつ、学校及び徴収担当課とも連携を図りながら、文書督促や家庭訪問等を行い、効果的な実施方法を検証する。

(参考)

前年度決算額	2,399
--------	-------

評価結果	学校給食費未納額及び未納者を増加させないため、法的措置を含めた対策等、効果的な実施方法を検証しながら継続的に実施する。
------	---

教085	項目名	給食地産地消推進事業費
------	-----	-------------

主要な施策	給食地産地消推進事業費	ページ	47	所属名
-------	-------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	教育費
項	保健体育費
目	学校給食費

(単位:千円)	
当初予算額	2,000

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	2,000
-------	-------

本年度決算額	2,000
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	2,000
計	2,000

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】学校給食係 0857-20-3372

【9次総の施策体系】1102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P294 (教076)

【事業の概要】  
 食材コーディネーター1名を配置し、鳥取地域の学校給食における地元食材の使用を推進する。平成23年度はふるさと雇用特別交付金事業として実施した(単年度事業)。

【事業の成果】  
 (公財)鳥取市学校給食会に委託(随意契約)  
 平成25年度における県内産食材使用率が、鳥取市全体で70%、鳥取地域で66%と向上し、地元産食材の使用増加につながった。  
 H23 県内産食材使用率 鳥取市全体60% 鳥取地域56%  
 (H23はふるさと雇用特別交付金事業として実施)  
 H24 県内産食材使用率 鳥取市全体65% 鳥取地域61%  
 H25 県内産食材使用率 鳥取市全体70% 鳥取地域66%

【事業の成果】  
 (公財)鳥取市学校給食会に委託(随意契約)  
 平成25年度における県内産食材使用率が、鳥取市全体で70%、鳥取地域で66%と向上し、地元産食材の使用増加につながった。

【今後の課題・方向性】  
 JA・食材供給グループと連携強化を図り、地産地消の推進に引き続き取り組む。地産地消率は年々増加しているが、今後の増加はやや難しくなってくる。

(参考)

前年度決算額	2,000
--------	-------

評価結果	引き続き地元産食材の使用や地産地消費の推進に取り組む。食材コーディネーターの雇用は平成26年度限りとなっており、今後の対応は要検討である。
------	---

所属名	教育委員会事務局 体育課
-----	-----------------

教086	項目名	栄養教諭を中核とした食育推進事業費
------	-----	-------------------

主要な施策	栄養教諭を中核とした食育推進事業費	ページ	48
-------	-------------------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 体育課
-----	-----------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	教育費
項	保健体育費
目	学校給食費

(単位:千円)	
当初予算額	0

補正予算額	949
-------	-----

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	949
-------	-----

本年度決算額	894
--------	-----

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	894
地方債	0
その他	0
一般財源	0
計	894

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】学校給食係 0857-20-3372

【9次総の施策体系】1102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 8月補正予算・P40(教012)

【事業の概要】  
 本市では、鳥取市教育ビジョンめざす子ども像「ふるさとを思い志をもつ子」の実現に向けて、様々な方向で施策を展開し、事業を実施している。その中で、「すべての子どもたちが輝く教育の実現」のため、心身の健全な育成に向けて学校給食・食育の充実を進めている。本事業を実施することにより、児童生徒に生きる力を育むことを目指して、学校給食を生きた教材として活用した食に関する指導をはじめとする食育を学校・地域・家庭が連携を図りながら地域全体で展開し、ふるさと鳥取を愛する心、地域の自然や人への感謝の心、豊かな心の育成を図る。(事業実施時期：平成25年7月～平成26年2月)

【事業の成果】  
 ○学校給食ソングを作成し、小中学校へCDを配布、市ホームページに掲載したことは、学校給食、食への理解を深める方策として有効である。  
 ○学校給食親子料理教室、児童生徒と生産者の交流給食会の実施は、学校・家庭・地域が連携を図りながら食育を進めるうえで、アンケート結果からも、効果があったと考える。

【今後の課題・方向性】  
 ○本事業は、単年度事業であったため終了したが、学校給食を通じた食育推進事業を継続的に実施するための予算確保が必要である。

(参考)	
前年度決算額	0

評価結果	本事業の成果を今後の施策に反映する。
------	--------------------

教087	項目名	市民体育祭開催費
------	-----	----------

主要な施策	市民体育祭開催費	ページ	48
-------	----------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 体育課
-----	-----------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	教育費
項	保健体育費
目	体育振興費

(単位:千円)	
当初予算額	2,195

補正予算額	△ 32
-------	------

予算流・充用額	4
---------	---

最終予算額	2,167
-------	-------

本年度決算額	2,065
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	2,065
計	2,065

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

<p><b>事業の概要</b></p> <p>【問合せ先】スポーツ振興係 0857-20-3371</p> <p>【9次総の施策体系】3103</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P295 (教077)</p> <p>【事業の概要】 鳥取市民体育祭は昭和33年に市制70周年記念事業として始まった。44の小中学校区対抗で約半年間にわたり、15種目の競技を行い得点を競い合うもので、選手・役員・応援に多くの市民が参加する、全国でもあまり例を見ない本市最大のスポーツ行事である。</p> <p>【事業の成果】 鳥取市の掲げる市民総スポーツ運動の中核となる事業であり、生涯スポーツの推進はもとより、小中学校区対抗とすることで地域のつながりや一体感を醸成し、活力のあるまちづくりに寄与している。</p> <p>(実績)参加者数(選手、役員、応援等含む延べ人数) 平成23年度 23,895人 平成24年度 24,369人 平成25年度 23,396人</p> <p>経費内訳:大会運営委託料、競技用品、会場借上料、表彰関係品、プログラム印刷 その他消耗品等</p> <p>【今後の課題・方向性】 競技の運営方法や開催日程等、地域体育会等の意見を反映し、より参加しやすい大会づくりに向け、見直しを行っていく。</p>
---

(参考)	
前年度決算額	2,022

評価結果	市民総スポーツ運動の中核となる事業であり、生涯スポーツや市民交流の推進の場となっている。参加者のニーズに合わせ、競技の実施方法等に改善を加えながら継続実施する。
------	--

教088	項目名	姫路市スポーツ大会開催費
------	-----	--------------

主要な施策	体育大会費	ページ	48
-------	-------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 体育課
-----	-----------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	教育費
項	保健体育費
目	体育振興費

(単位:千円)	
当初予算額	663

補正予算額	△ 112
-------	-------

予算流・充用額	24
---------	----

最終予算額	575
-------	-----

本年度決算額	570
--------	-----

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	570
計	570

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

<p><b>事業の概要</b></p> <p>【問合せ先】スポーツ振興係 0857-20-3371  【9次総の施策体系】3103  【予算計上の経過】  予算事業別概要目次  当初予算・P295(教078)</p> <p>【事業の概要】  鳥取市と姫路市は、昭和47年に姉妹都市提携を結んで以来、各分野に渡って交流を広げてきた。スポーツにおいても、昭和52年から毎年、4種目程度の種目の役員・選手が相互訪問し、交流を深めている。</p> <p>【事業の成果】  鳥取市を会場にスポーツ交歓大会を開催し、姉妹都市として一層の親善と友好を深めるとともに、両市のスポーツ活動の推進を図った。  経費内訳・・・大会運営委託料、参加記念品、プログラム印刷、その他消耗品等  (実績)  平成23年5月22日(日) 会場：鳥取市  種目：バレーボール(小)、バスケットボール(中)、ソフトテニス(中・高・一般)、グラウンド・ゴルフ(一般)  平成24年5月27日(日) 会場：姫路市  種目：バレーボール(小)、卓球(小・中・一般)、バドミントン(小・中・高・一般)  サッカー(小)、水泳(小)ほか3種目  平成25年5月26日(日) 会場：鳥取市  種目：卓球(小・中・一般)、バドミントン(小・中・一般)、弓道(一般)  ソフトボール(シニア)</p> <p>【今後の課題・方向性】  両市民の交流を深めるほか、スポーツ推進に寄与しているため、今後も継続して大会を開催する必要がある。</p>
--

(参考)	
前年度決算額	569

評価結果	姉妹都市交流の一環として効果的な事業となっている。両市民の友好交流とともにスポーツ活動を推進するため、今後も継続する。
------	---



教089	項目名	スポレク祭開催費
------	-----	----------

主要な施策	体育大会費	ページ	48
-------	-------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 体育課
-----	-----------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	教育費
項	保健体育費
目	体育振興費

【問合せ先】スポーツ振興係 0857-20-3371

【9次総の施策体系】3103

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P296(教079)

(単位:千円)

当初予算額	695
-------	-----

【事業の概要】  
 鳥取市スポーツレクリエーション祭は、生涯スポーツの普及に伴い平成2年度から始まった大会である。校區別に競技スポーツで勝敗を競う市民体育祭とは異なり、市民誰もが気軽に参加できる、レクリエーションスポーツやニュースポーツを中心に開催している。

補正予算額	△ 48
-------	------

【事業の成果】  
 気軽に参加できるスポーツイベントとして、生涯スポーツの普及推進に寄与している。平成25年度は、実施種目の見直しを行ったほか、オープン種目を追加し大会を開催した。

予算流・充用額	5
---------	---

平成25年9月22、23、29日開催  
 13種目：グラウンド・ゴルフ、ペタンク、ゲートボール、歩こう会、ドッジボール  
 バウンズボール、ラージボール卓球、バウンドテニス、ソフトバレーボール  
 羽根っこゲーム、卓球バレー、ニュースポーツ体験、ボウリング（オープン）

最終予算額	652
-------	-----

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	651
--------	-----

(実績) 参加者数等  
 平成23年度 13種目 187チーム 1,036人  
 平成24年度 11種目 146チーム 894人 (天候により2種目中止)  
 平成25年度 13種目 176チーム 942人  
 経費内訳：大会運営委託料、会場借上料、その他消耗品等

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	651
計	651

【今後の課題・方向性】  
 関係団体と連携を図り、種目や運営方法の見直しを検討しながら実施していく。

(参考)

前年度決算額	467
--------	-----

評価結果	生涯スポーツ等の普及・推進に寄与している大会であり、種目や運営方法等の見直しを行い、参加者のニーズに合った大会となるよう検討していく。
------	---

教090	項目名	美作市少年サッカー交流大会開催費
------	-----	------------------

主要な施策	体育大会費	ページ	48
-------	-------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 体育課
-----	-----------------

年度	H25
----	-----

事業の概要
-------

会計名	一般会計
款	教育費
項	保健体育費
目	体育振興費

【問合せ先】スポーツ振興係 0857-20-3371

【9次総の施策体系】3103

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 12月補正予算・P57(教021)

【事業の概要】  
 美作市を本拠地とするサッカークラブが、鳥取市のとりぎんバードスタジアムで、なでしこリーグのゲームを開催するなど、美作市とのサッカーを通じた交流が図られている。その中で更なる親善の輪を広げるため、平成25年度に小学生によるサッカー交流大会をスタートした。

【事業の成果】  
 各代表チームによる小学生サッカー交流大会を開催し、両市の交流・親善を深めるとともに、サッカー活動の発展及び少年の健全育成を図った。

平成26年3月9日(日)於：とりぎんバードスタジアム(鳥取市)隔年開催  
 参加人数：美作市16人、鳥取市16人(計32人)

経費内訳：参加記念品、選手・役員用食糧費、運営委託料ほか

【今後の課題・方向性】  
 会場地を持ち回りとし、継続的に開催していく。

(単位:千円)

当初予算額	0
補正予算額	161
予算流・充用額	9

最終予算額	170
-------	-----

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	142
--------	-----

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	142
計	142

(参考)

前年度決算額	0
--------	---

評価結果	第1回目となる今大会は鳥取市での開催であったが、今後は会場地を持ち回りに、継続的に大会を実施していくことで、更なる地域の親善を深めていく。
------	---

教091	項目名	新春健康マラソン大会開催費
------	-----	---------------

主要な施策	体育大会費	ページ	48
-------	-------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 体育課
-----	-----------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	教育費
項	保健体育費
目	体育振興費

【問合せ先】スポーツ振興係 0857-20-3371

【9次総の施策体系】3103

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P296(教080)

【事業の概要】  
 平成21年度まで開催していた山の手マラソンに代わり、安全かつ記録の出やすいコースで、5・3・1.5km、ファミリー1kmの部門別に健康マラソン大会を実施している。参加料無料で当日受付とし、気軽に参加できる年頭の恒例行事として定着している。

【事業の成果】  
 年頭（1月3日）にマラソン大会を実施し、参加者の健康維持・増進を図った。

（実績）参加者数  
 平成23年度 442人  
 平成24年度 天候不順のため中止  
 平成25年度 578人

経費内訳：大会運営委託料、参加記念品、会場借上料、その他消耗品等

【今後の課題・方向性】  
 年頭の恒例事業として定着しているため、継続的に実施していく。

(単位:千円)

当初予算額	578
補正予算額	△ 330
予算流・充用額	△ 28

最終予算額	220
本年度決算額	218

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	218
計	218	

(参考)

前年度決算額	182
--------	-----

評価結果	鳥取市年始の恒例行事であり、市民の健康づくりのきっかけとなっている。今後も継続的に実施していく。
------	--

教092	項目名	エクアドルキャンプ記念サッカー大会費
------	-----	--------------------

主要な施策	エクアドルキャンプ記念サッカー大会費	ページ	48
-------	--------------------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 体育課
-----	-----------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	教育費
項	保健体育費
目	体育振興費

【問合せ先】スポーツ振興係 0857-20-3371

【9次総の施策体系】3103

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P297(教081)

【事業の概要】  
 平成14年度に開催されたFIFAワールドカップにおいて、本市はエクアドル代表チームの公式キャンプ地となった。これをきっかけに、平成15年度には「日本・エクアドル友好協会」を鳥取市に設立し記念のサッカー大会をスタートした。

【事業の成果】  
 ワールドカップキャンプ地となったバードスタジアム等を会場に、小・中学生によるサッカー大会を開催した。バードスタジアムを決勝等の舞台とすることで、小・中学生の夢や目標を育み、青少年の健全育成やスポーツ活動の推進を図った。

(実績) 参加チーム数  
 平成23年度 小学生33チーム 中学生16チーム  
 平成24年度 小学生38チーム 中学生20チーム  
 平成25年度 小学生41チーム 中学生20チーム

経費内訳・・・大会運営委託料、参加記念品、会場借上料、その他消耗品等

【今後の課題・方向性】  
 少年スポーツの健全な発展に寄与している大会であり、継続的に実施していく。

(単位:千円)

当初予算額	421
補正予算額	△ 19
予算流・充用額	2

最終予算額	404
-------	-----

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	403
--------	-----

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	403
計	403

(参考)

前年度決算額	380
--------	-----

評価結果	少年の夢や目標を育てる機会を提供するため、引き続き開催していく。
------	----------------------------------

教093	項目名	全国高校野球選手権大会出場補助金
------	-----	------------------

主要な施策	全国高校野球選手権大会出場補助金	ページ	48
-------	------------------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 体育課
-----	-----------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	教育費
項	保健体育費
目	体育振興費

(単位:千円)	
当初予算額	0

補正予算額	609
-------	-----

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	609
-------	-----

本年度決算額	608
--------	-----

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	608
計	608

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

【問合せ先】スポーツ振興係 0857-20-3371

【9次総の施策体系】3103

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 8月補正予算・P42(教015)

【事業の概要】  
 全国高等学校野球選手権大会等へ出場する高校へ激励の補助金を交付する。

【事業の成果】  
 第95回全国高等学校野球選手権記念大会へ出場した鳥取城北高校へ補助金を交付したほか、鳥取市役所第二庁舎へ懸垂幕を設置し、全国大会に出場する選手を激励し、健全なスポーツ活動の発展を図った。

(実績) 補助金額、交付対象校  
 平成23年度 500千円 鳥取商業高校(夏)、500千円 鳥取城北高校(春)  
 平成24年度 500千円 鳥取城北高校(夏)  
 平成25年度 500千円 鳥取城北高校(夏)

補助対象経費：全国大会出場に要する経費等

【今後の課題・方向性】  
 補助金交付要綱に従い、全国高等学校野球選手権大会等へ出場する高校へ、随時交付していく。

(参考)	
前年度決算額	603

評価結果	全国大会へ出場する選手への激励と鳥取の知名度の向上のため、対象校へ引き続き交付していく。
------	--

教094	項目名	小中学校体育連盟補助金
------	-----	-------------

主要な施策	小中学校体育連盟補助金	ページ	48
-------	-------------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 体育課
-----	-----------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	教育費
項	保健体育費
目	体育振興費

【問合せ先】スポーツ振興係 0857-20-3371

【9次総の施策体系】3103

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P297(教082)

【事業の概要】  
 児童・生徒の競技力向上及び健全育成を図るため、小・中学校体育連盟の運営費補助金を交付する。

【事業の成果】  
 鳥取市小・中学校体育連盟の活動に要する経費に対して補助金を交付し、スポーツ活動の健全な発展に寄与した。主な内訳は各種大会への派遣費となっている。

(小学校体育連盟補助金) 補助対象経費：県陸上・水泳大会派遣費、主催事業運営費  
 平成23年度 1,117千円  
 平成24年度 1,128千円  
 平成25年度 1,244千円

(中学校体育連盟補助金) 補助対象経費：県中学校総体、全国・中国大会派遣費等  
 平成23年度 9,843千円  
 平成24年度 9,876千円  
 平成25年度 10,488千円

【今後の課題・方向性】  
 小・中学校体育連盟の円滑な活動のため、引き続き補助金を交付していく。

当初予算額	9,574
-------	-------

補正予算額	2,158
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	11,732
-------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	11,732
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	11,732
計	11,732

(参考)	
前年度決算額	11,004

評価結果	学校教育活動の一環である小中学校体育連盟の活動を支援し、スポーツを通じた児童・生徒の健全育成や競技力向上を図るため、引き続き実施する。
------	---

教095	項目名	鳥取マラソン開催費
------	-----	-----------

主要な施策	鳥取マラソン開催費	ページ	48
-------	-----------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 体育課
-----	-----------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	教育費
項	保健体育費
目	体育振興費

【問合せ先】スポーツ振興係 0857-20-3371

【9次総の施策体系】3103

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P298(教083)

【事業の概要】  
 平成19年度に約800名の参加のもとスタートした「鳥取マラソン」は、県内唯一のフルマラソン大会である。現在では全国のランニング愛好者約3,000名が参加し、鳥取市内の観光名所等を巡る魅力の詰まった大会となっている。

【事業の成果】  
 大会規模の拡大に向けコースの大幅な変更を行ったほか、大会の更なる満足度向上をめざし県・市、新日本海新聞社、各種体育・経済団体など多方面からの参画のもと、鳥取マラソン実行委員会を平成25年7月に設立した。過去最多のエントリーのもと「鳥取マラソン2014」を開催し、鳥取の魅力为全国へ発信した。

(実績)参加者数(エントリー数)  
 平成23年度 2,622人  
 平成24年度 2,882人  
 平成25年度 3,012人

【今後の課題・方向性】  
 観光PRやおもてなし体制を拡充し、今後も継続して開催する。

(単位:千円)

当初予算額	3,000
-------	-------

補正予算額	5,000
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	8,000
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	8,000
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	8,000
計	8,000

(参考)

前年度決算額	3,000
--------	-------

評価結果	年々参加者が増加傾向にあり、鳥取市が全国にアピールできる大会へと成長しつつある。今後も運営体制を充実させ、参加者の増加につなげるよう継続する。
------	---

教096	項目名	子どものころづくり支援「夢の教室」事業費
------	-----	----------------------

主要な施策	子どものころづくり支援「夢の教室」事業費	ページ	48
-------	----------------------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 体育課
-----	-----------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	教育費
項	保健体育費
目	体育振興費

(単位:千円)	
当初予算額	1,204

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	1,204
-------	-------

本年度決算額	1,204
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	1,204
計	1,204

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要	<p>【問合せ先】スポーツ振興係 0857-20-3371</p> <p>【9次総の施策体系】3103</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P298(教084)</p> <p>【事業の概要】 スポーツや文化、芸術の分野における著名人等を「夢先生」として迎え、夢を持つことや仲間と協力することの大切さを、子どもたちに伝える「夢の教室」を実施。 ・前半「ゲームの時間」では、体育館で体を動かしながら「目的のために協力すること」「相手を思いやるころ」の大切さに気づいてもらう。 ・後半「トークの時間」では、教室で「夢先生」の体験談をもとに夢について語りかけ、目標に向かって努力することの大切さを教えるほか、子どもたちに自分の夢について考えてもらう。</p> <p>【事業の成果】 小学5年生を対象に「夢の教室」を実施。仲間と協力することや目標を持って行動することの大切さを学ぶ貴重な事業で、希望校も年々増加している。 (実績)実施学校数 平成23年度 7校、14クラスで実施 平成24年度 7校、12クラスで実施 平成25年度 7校、12クラスで実施</p> <p>経費内訳：事業運営委託料（委託先 日本サッカー協会）</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成26年度から、小学校に加え中学校でも事業実施することとなり、日程の調整を図りながら、広く事業参加の機会を提供していきたい。</p>
-------	---

(参考)	
前年度決算額	1,204

評価結果	子どもたちの夢を育む事業として非常に有意義であり、平成26年度からは小学5年生のみならず、中学生も対象として事業の拡大を図りながら継続的に、実施する。
------	---



教097	項目名	因幡但馬ジオパーク都市交流陸上競技大会補助金
------	-----	------------------------

主要な施策	因幡但馬ジオパーク都市交流陸上競技大会補助金	ページ	48
-------	------------------------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 体育課
-----	-----------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	教育費
項	保健体育費
目	体育振興費

(単位:千円)	
当初予算額	100

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	100
-------	-----

本年度決算額	100
--------	-----

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	100
計	100

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要	<p>【問合せ先】スポーツ振興係 0857-20-3371</p> <p>【9次総の施策体系】3103</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P299(教085)</p> <p>【事業の概要】 兵庫県但馬地域と鳥取県東部地域は距離的に近く、同じ経済圏にありながら、児童・生徒のスポーツ交流はほとんど行われていなかった。山陰海岸ジオパークや県境を越えた定住自立圏構想の推進など地域間交流の機運が高まるなか、平成23年度より両地域の中学生を対象とした陸上大会がスタートし、大会の支援を開始した。</p> <p>【事業の成果】 大会の開催に要する経費を補助し、中学生の陸上競技の交流を通じた両地域の親善や、スポーツ活動の発展に寄与した。</p> <p>(実績) 補助金額、参加者数 平成23年度 100千円 181人 (鳥取県 92人・兵庫県89人) 平成24年度 100千円 198人 (鳥取県104人・兵庫県94人) 平成25年度 100千円 194人 (鳥取県100人・兵庫県94人)</p> <p>経費内訳：バス借上料、大会プログラム印刷費、役員報償費等</p> <p>【今後の課題・方向性】 地域間交流に有意義な大会の継続開催のため、引き続き補助金を交付していく。</p>
-------	---

(参考)	
前年度決算額	100

評価結果	本大会は地域間交流の深まりや、青少年のスポーツ活動の発展に寄与するものであり、継続開催が望まれるため、引き続き補助金を交付していく。
------	--

教098	項目名	子どもの運動遊び推進事業費
------	-----	---------------

主要な施策	子どもの運動遊び推進事業費	ページ	48	所属名
-------	---------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	教育費
項	保健体育費
目	体育振興費

(単位:千円)	
当初予算額	1,633

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	1,633
-------	-------

本年度決算額	1,633
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	1,633
計	1,633

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】スポーツ振興係 0857-20-3371

【9次総の施策体系】3103

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P299(教086)

【事業の概要】  
 文科省の全国体カテストでは、運動する子とほとんどしない子に二極化する傾向が明らかとなっている。  
 子どもたちに遊びを通じた運動習慣を定着させるため、ガイナレ鳥取の選手・スタッフが学校、社会教育施設等に出かけ、子どもたちと一緒に身体を動かしたり、話をしたりして、大勢の仲間と過ごす楽しさ・大切さを子どもたちに経験させる。

【事業の成果】  
 プロスポーツ選手のノウハウを生かしたサッカー教室やこどもの動きづくり教室を、各小学校や地区公民館等と連携して展開。子どもの体力増進と運動習慣のきっかけづくりにつながっている。

(実績) 事業開催回数、参加者数  
 平成24年度 83回 2,745人  
 平成25年度 71回 2,393人

経費内訳：事業運営委託料（委託先 株式会社SC鳥取）

【今後の課題・方向性】  
 ・平成27年度以降事業の見直しを図る。  
 ・ガイナレ鳥取の自主財源での事業運営について協議・検討していく。

(参考)	
前年度決算額	1,633

評価結果	平成24年度からの実施事業であり、保育園、地区公民館等から事業継続の要望など事業が浸透しつつある段階のため継続実施が必要な事業である。今後はガイナレ鳥取の自主財源での事業運営について協議・検討していく。
------	---

所属名	教育委員会事務局 体育課
-----	-----------------

教099	項目名	地区体育館管理費
------	-----	----------

主要な施策	地区体育館管理費	ページ	48
-------	----------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 体育課
-----	-----------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	教育費
項	保健体育費
目	体育施設費

【問合せ先】体育施設係 0857-20-3373

【9次総の施策体系】3103

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P300（教087）、12月補正予算・P58（教023）

【事業の概要】  
 体育館（市民体育館を除く鳥取地域24館、新市域15館）の維持管理

【事業の成果】  
 体育館の維持管理・運営を行うことで、市民の体育振興と健康増進に寄与した。

（実績）修繕費・光熱水費など、地区体育館の維持管理費  
 平成23年度 31,157千円  
 平成24年度 31,165千円  
 平成25年度 30,291千円

【今後の課題・方向性】  
 体育館の管理運営のあり方について、一部委託、指定管理者制度移行だけでなく、地元移管、廃止も含めて検討していく。

(単位:千円)

当初予算額	32,482
補正予算額	1,454
予算流・充用額	△ 26

最終予算額	33,910
-------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	9,003
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	1,179
その他	0

本年度決算額	30,221
--------	--------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	10,182
	一般財源	20,039
計	30,221	

(参考)

前年度決算額	31,165
--------	--------

評価結果	全国の現状と比較し体育館の設置数が多く、老朽化も課題になっている。一部委託、指定管理者制度移行にとどまらず、施設の地元移管や老朽施設の廃止も検討していく。
------	---

教100	項目名	地区体育館整備費(地域の元気臨時交付金活用事業費)
------	-----	---------------------------

主要な施策	地区体育館整備費	ページ	49
-------	----------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 体育課
-----	-----------------

年度	H25
----	-----

事業の概要	
-------	--

会計名	一般会計
款	教育費
項	保健体育費
目	体育施設費

(単位:千円)	
当初予算額	0

補正予算額	6,382
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	6,382
-------	-------

本年度決算額	6,237
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	5,113
地方債	0
その他	0
一般財源	1,124
計	6,237

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

【問合せ先】体育施設係 0857-20-3373

【9次総の施策体系】3103

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 12月補正予算・P59(教025)

【事業の概要】  
 湖南地区体育館駐車場改修工事  
 ①円形植栽・周辺植栽及びブロック撤去  
 ②外周防護柵設置  
 ③駐車区画線敷設

【事業の成果】  
 植栽撤去により、駐車場の美観と利便性が向上した。

【今後の課題・方向性】  
 地元から看板設置要望が出ており、対応について検討する。

(参考)	
前年度決算額	0

評価結果	平成25年度実施 地元から看板設置要望が出ており、対応について検討する。
------	---

教101	項目名	海洋センター整備費
------	-----	-----------

主要な施策	海洋センター整備費	ページ	48
-------	-----------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 体育課
-----	-----------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	教育費
項	保健体育費
目	体育施設費

【問合せ先】体育施設係 0857-20-3373

【9次総の施策体系】3103

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P300（教088）

【事業の概要】  
 現在、鳥取市には4施設の海洋センターが整備されているが、どの施設も建設から27年以上経過しており、老朽化により利用に支障をきたしている個所が多く見受けられる。これら施設を年次的に改修することにより、利用者の利便を図り、市民の体育振興と健康増進に寄与する。

〔委託料〕  
 佐治町B&G海洋センター体育館改修設計業務

〔工事請負費〕  
 佐治町B&G海洋センター体育館改修（建築・電気）工事

【事業の成果】  
 市民が利用し易い体育館として改修整備することにより、体育振興と健康の増進を図る。

【今後の課題・方向性】  
 一つの自治体が4施設の海洋センターを管理しているのは、全国でも数少なく、今後財政的にも統廃合を含めて議論していく必要がある。

(単位:千円)

当初予算額	64,076
補正予算額	△ 40,331
予算流・充用額	0

最終予算額	23,745
本年度決算額	23,744

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	10,300
その他	0

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	13,400
その他	10,300
一般財源	44
計	23,744

(参考)

前年度決算額	0
--------	---

評価結果	利用者の安全性を確保するため、適宜、施設改修を行いながら、市内市外からの利用増進を図る。
------	--

教102	項目名	武道館整備費
------	-----	--------

主要な施策	武道館整備費	ページ	48
-------	--------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 体育課
-----	-----------------

年度	H25
----	-----

事業の概要
-------

会計名	一般会計
款	教育費
項	保健体育費
目	体育施設費

【問合せ先】体育施設係 0857-20-3373

【9次総の施策体系】3103

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P301（教089）

【事業の概要】  
 鳥取市武道館の屋根雨漏り改修及び柔道畳を購入した。

【事業の成果】  
 雨漏りの改修及び柔道畳の入れ換えをすることで、施設利用者の安全が確保された。

【今後の課題・方向性】  
 施設の老朽化が進んでいることから、改修のみならず廃止も含めた施設の存続のあり方を検討していく。

(単位:千円)	当初予算額	59,269
---------	-------	--------

補正予算額	△ 26,376
-------	----------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	32,893
-------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	31,981
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	23,800
その他	0
一般財源	8,181
計	31,981

(参考)	前年度決算額	0
------	--------	---

評価結果	施設の老朽化が進んでいることから、廃止も含めた施設存続のあり方を検討していく。
------	---

教103	項目名	屋外体育施設管理費
------	-----	-----------

主要な施策	屋外体育施設管理費	ページ	48
-------	-----------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 体育課
-----	-----------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	教育費
項	保健体育費
目	体育施設費

【問合せ先】体育施設係 0857-20-3373

【9次総の施策体系】3103

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P301（教090）、12月補正予算・P59（教026）

【事業の概要】  
 多目的スポーツ広場やテニスコートなどの屋外体育施設（41施設）の維持管理及び、10月に強風被害を受けた気高町龍見台テニスコートの修繕を行った。

【事業の成果】  
 屋外体育施設の維持管理を行うことで、市民の体育振興と健康増進に寄与した。  
 （実績）修繕費、光熱水費など屋外体育施設の維持管理費  
 平成23年度 15,659千円  
 平成24年度 16,442千円  
 平成25年度 15,881千円

【今後の課題・方向性】  
 老朽化した屋外体育施設を段階的に整備する。また、地域により偏りのある屋外広場などを市民と協働して管理していく方向を模索する。

(単位:千円)

当初予算額	17,584
補正予算額	252

予算流・充用額	△ 547
---------	-------

最終予算額	17,289
-------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	1,055
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	15,881
--------	--------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	1,055
	一般財源	14,826
計	15,881	

(参考)

前年度決算額	16,442
--------	--------

評価結果	地元移管や廃止等、施設のあり方を検討していかなければならない。
------	---------------------------------

教104	項目名	屋外体育施設整備事業費(地域の元気臨時交付金活用事業費)
------	-----	------------------------------

主要な施策	屋外体育施設整備事業費	ページ	48
-------	-------------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 体育課
-----	-----------------

年度	H25
----	-----

事業の概要	
-------	--

会計名	一般会計
款	教育費
項	保健体育費
目	体育施設費

【問合せ先】体育施設係 0857-20-3373

【9次総の施策体系】3103

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 8月補正予算・P42(教016)

【事業の概要】  
 美穂スポーツ広場では、平成18年の開設以後、南側の民家や北側の圃場に飛砂の被害が生じていたため、グラウンドを芝生化するための基盤整備として散水設備を設置した。

【事業の成果】  
 飛砂の軽減、散水設備設置による地元住民の維持管理作業の負担軽減を行った。

【今後の課題・方向性】  
 屋外体育施設の管理運営の在り方について、一部委託、指定管理者制度移行だけでなく、地元移管、廃止を含めて検討していく。

(単位:千円)

当初予算額	0
補正予算額	2,940
予算流・充用額	0

最終予算額	2,940
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	2,899
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	2,352
地方債	0
その他	0
一般財源	547
計	2,899

(参考)

前年度決算額	0
--------	---

評価結果	平成25年度実施 利用率や緊急度等を考慮し、今後も地元との協働のシステムづくりを検討していく必要がある。
------	---



教105	項目名	海洋センター管理費
------	-----	-----------

主要な施策	海洋センター管理費	ページ	48
-------	-----------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 体育課
-----	-----------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	教育費
項	保健体育費
目	体育施設費

【問合せ先】体育施設係 0857-20-3373

【9次総の施策体系】3103

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P302（教091）

【事業の概要】  
 佐治、気高、鹿野町B & G海洋センターは、地域の身近な体育施設として多くの市民に利用されている。これらの海洋センターの維持管理を行った。

【事業の成果】  
 B & G海洋センターの維持管理を行うことで、市民の体育振興と健康増進に寄与した。

（実績）日々雇用職員賃金・修繕費・光熱水費など海洋センターの維持管理費  
 平成23年度 12,456千円  
 平成24年度 19,887千円  
 平成25年度 11,830千円

【今後の課題・方向性】  
 B & G海洋センターの管理運営のあり方について、一部委託、指定管理者制度移行を含めた今後のあり方を検討していく必要がある。

(単位:千円)

当初予算額	12,586
補正予算額	0

予算流・充用額	331
---------	-----

最終予算額	12,917
-------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	348
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	44
その他	0

本年度決算額	11,829
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	392
一般財源	11,437
計	11,829

(参考)

前年度決算額	19,887
--------	--------

評価結果	当面、直営管理を継続するが、今後は、指定管理者制度の活用も含めて、管理方法の検討を要する。
------	---

教106	項目名	プール管理費
------	-----	--------

主要な施策	プール管理費	ページ	48
-------	--------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 体育課
-----	-----------------

年度	H25
----	-----

事業の概要
-------

会計名	一般会計
款	教育費
項	保健体育費
目	体育施設費

当初予算額	8,545
-------	-------

補正予算額	831
-------	-----

予算流・充用額	157
---------	-----

最終予算額	9,533
-------	-------

本年度決算額	8,767
--------	-------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	882
	一般財源	7,885
計	8,767	

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	457
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	425
その他	0

【問合せ先】 体育施設係 0857-20-3373

【9次総の施策体系】 3103

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P302（教092）、6月補正予算・P34（教008）、  
 12月補正予算・P60（教027）

【事業の概要】  
 国府町農村勤労者福祉センタープール、河原市民プールの維持管理及び4月と10月に強風被害を受けた国府町農村勤労福祉センタープールの修繕を行った。

【事業の成果】  
 プールの維持管理を行い、市民の体育振興と健康増進に寄与する。

（実績）修繕費・光熱水費・日々雇用職員などプールの維持管理費  
 平成23年度 7,009千円  
 平成24年度 7,280千円  
 平成25年度 8,810千円

【今後の課題・方向性】  
 プールの管理運営のあり方について、一部委託、指定管理者制度を含めた今後のあり方を検討していく必要がある。

(参考)	前年度決算額	7,280
------	--------	-------

評価結果	指定管理者制度移行にとどまらず、施設の学校移管、廃止も検討していく。
------	------------------------------------

教107	項目名	鳥取市弓道場整備事業費
------	-----	-------------

主要な施策	鳥取市弓道場整備事業費	ページ	48
-------	-------------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 体育課
-----	-----------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	教育費
項	保健体育費
目	体育施設費

【問合せ先】体育施設係 0857-20-3373

【9次総の施策体系】3103

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P303（教093）

【事業の概要】  
 平成20年9月より開催された「鳥取市弓道場建設検討委員会」の提言を受け、平成25年度供用開始を目指して新弓道場を整備した。  
 [新弓道場概要] 管理棟（平屋建て、近的的場（10人立）、巻ワラ道場、事務室等）  
 観覧席（190席、車椅子用3席）  
 遠的射場（6人立）  
 防矢ネット  
 外構（駐車場 69台、うち車椅子利用者用2台）

【工事請負費】  
 鳥取市弓道場新築（建築・電気・機械・植栽）工事  
 鳥取市弓道場駐車場ほか新設工事

【補償金】  
 弓道場整備事業に伴う補償金

【事業の成果】  
 新弓道場の整備により中国大会レベルの大会等が開催されるようになり、地域の活性化及び市民の満足度が高まるほか、弓道人口の増加と競技力向上の相乗効果が見込まれる。

【今後の課題・方向性】  
 中国大会レベルの大会を誘致する。

(単位:千円)

当初予算額	32,855
補正予算額	△ 1,536
予算流・充用額	0

最終予算額	31,319
本年度決算額	31,318

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	27,100
その他	0
一般財源	4,218
計	31,318

(参考)

前年度決算額	234,691
--------	---------

評価結果	大会を誘致し、交流人口の拡大と集客による経済効果を図る。
------	------------------------------

教108	項目名	(仮称)鳥取市スケートリンク検討委員会費
------	-----	----------------------

主要な施策	(仮称)鳥取市スケートリンク検討委員会費	ページ	49
-------	----------------------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 体育課
-----	-----------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	教育費
項	保健体育費
目	体育施設費

【問合せ先】体育施設係 0857-20-3373

【9次総の施策体系】3103

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P303 (教094)

【事業の概要】  
 平成18年に鳥取市内の民間スケート場が閉鎖され、中国5県でスケート場がない県は鳥取県のみとなった。県内の子供たちは氷上スポーツを身近に体験する場を失い、競技選手たちは県外での練習を強いられるなど、今後の地元選手の育成衰退が懸念されている。こうしたことから、平成18年以降、競技人口が多く指導者も充実している鳥取市へのスケートリンク建設要望が寄せられている。  
 冬季オリンピックでのフィギュアスケート、カーリング人気などもあり、子どもから大人まで氷上スポーツへの関心は高まっている。また、スケート競技は国民体育大会の正式種目でもあるが、競技人口の拡大・競技力の向上などの効果も踏まえ、地元で氷上スポーツに親しめる施設整備について検討した。

【事業の成果】

- 1 スケートリンク検討委員会の会議の開催
- 2 先進地視察（兵庫県西宮市「ひょうご西宮アイスアリーナ」）
- 3 スケートリンク検討委員会報告書の作成

【今後の課題・方向性】  
 今後は、報告書の内容を精査し、スケートリンク整備の是非について検討する。

(単位:千円)

当初予算額	612
補正予算額	△ 397
予算流・充用額	0

最終予算額	215
-------	-----

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	162
--------	-----

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	162
計	162

(参考)

前年度決算額	72
--------	----

評価結果	平成26年3月に報告書をまとめ、同年5月に市長報告を行った。 今後は、報告書の内容を精査し、スケートリンク整備の可能性について検討する。
------	---

教109	項目名	地域社会教育活動総合事業費
------	-----	---------------

主要な施策	地域社会教育活動総合事業費	ページ	47
-------	---------------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 市立図書館
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	教育費
項	社会教育費
目	市民図書館費

【問合せ先】中央図書館 0857-27-5182

【9次総の施策体系】2102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P304（教095）

(単位:千円)

当初予算額	877
-------	-----

- 【事業の概要】
- ①各図書館で毎週定期的に「おはなし会」を実施
  - ②絵本の読み聞かせ等ボランティア養成講座を実施
  - ③保健センターが行なうブックスタート事業に協力
  - ④鳥取大学等と連携した一般向け講座の実施
  - ⑤とっとり市報への移動図書館車巡回日程の折込（年1回）
  - ⑥気高図書館開館10周年記念事業 など実施

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

- 【事業の成果】
- ①おはなし会等 135回開催 延べ2,626人参加
  - ②読み聞かせ等ボランティア養成講座 17回開催 延べ497人参加
  - ③その他音読教室、ブックスタート支援など 21回開催 延べ609人参加
  - ④用瀬図書館での事業 56回開催 延べ510人参加
  - ⑤気高図書館での事業 50回開催 延べ500人参加
  - ⑥気高図書館開館10周年記念事業 1回 124人参加
- 平成23年度 1,013千円  
 平成24年度 1,595千円（市立図書館30周年記念事業実施）  
 平成25年度 839千円（気高図書館開館10周年記念事業実施）

最終予算額	877
-------	-----

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	839
--------	-----

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	839
計	839

【今後の課題、方向性】  
 図書館だけではなく家庭・地域とさらに連携し、市民に豊かな読書環境を提供する必要がある。

(参考)

前年度決算額	1,595
--------	-------

評価結果 豊かな市民生活を送るためには、さまざまな知識や情報を容易に入手し、課題を自ら判断し、生涯にわたって学んでいくことが必要である。このため、図書館は市民のニーズを捉えながら、様々なテーマで学習の機会を提供していく必要がある。

教110	項目名	図書館情報管理システム処理費
------	-----	----------------

主要な施策	図書館情報管理システム処理費	ページ	47
-------	----------------	-----	----

所属名	教育委員会事務局 市立図書館
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	教育費
項	社会教育費
目	市民図書館費

【問合せ先】中央図書館 0857-27-5182  
 【9次総の施策体系】2102  
 【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P304（教096）  
 【事業の概要】  
 平成18年度に9館の図書館電算システムを統合したが、機器類の老朽化やソフト保守対象期間外となり、24年度にプロポーザル方式により業者選定を行いシステムを更新した。平成25年度から、新システムを本格的に運用。  
 【事業の成果】  
 図書館3館及び中央公民館図書室6室を新システムで運用することにより、迅速で多彩な図書館サービスの提供を行うことができた。主な機能としては、資料管理、利用者管理、貸出管理、予約管理、搬送管理、発注管理、Web管理などが一元化されている。  
 ①市民の図書館利用の利便性向上  
 ②図書、利用者、貸出管理及び図書購入整備の効率性向上  
 ③地域間格差の是正  
 ④利用者によるインターネットでの検索、予約受付、貸出延長などのサービス提供  
 （実績）

	(23年度)	(24年度)	(25年度)
蔵書冊数	576,204冊	593,385冊	614,625冊
登録者数	65,849人	54,687人（整理後）	56,731人
個人貸出	900,563冊	868,001冊	899,132冊
団体貸出	94,320冊	96,435冊	123,080冊
予約受付	127,016件	120,462件	134,620件
中央図書館入館者	442,690人	414,448人	426,459人
決算額	8,760千円	9,894千円	28,089千円

【今後の課題、方向性】  
 システム更新により、一層の利便性の向上や効率化を図ることで時間を創出し、相談業務、案内業務など利用者とのコミュニケーションの強化を図る。

(単位:千円)

当初予算額	28,267
-------	--------

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	28,267
-------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	28,089
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	28,089
計	28,089

(参考)

前年度決算額	9,894
--------	-------

評価結果	平成24年度にプロポーザル方式により更新したシステムにより多くの改善を図った。25年度はシステムを効率的に運用し、利用者にも職員にも利便性の高いサービスが提供できたと実感した。今後も、毎年進化するシステムを活用し、利用者の更なる利便性の強化を図るとともに、機械化できるところは機械化を図り、マンパワーは、相談業務等必要な部分に傾注していきたい。
------	--